

ClickShare CB Core, CB Pro

CB3010S



設置マニュアル

Barco NV
Beneluxpark 21, 8500 Kortrijk, Belgium

Registered office: Barco NV
President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium

Copyright ©

All rights reserved.本文書のいかなる部分もコピー、複製、翻訳が禁止されています。Barco から事前の書面による通知がある場合を除いて、他の方法で、記録、転送、検索システムへの保存も認められていません。

変更点

Barco は、このマニュアルを「現状のまま」で提供し、暗黙的保証または特定の目的に対する商業性および適合性を含みますがそれに限定されない、明示的または暗黙的に、いかなる保証も適用されません。Barco は、この出版物に記述されている製品やプログラムに対する改良や変更を事前通知なしでいつでも実施できます。

この出版物には、技術的な誤りや誤植が含まれている可能性があります。この出版物への変更は定期的に行われます。このようは変更は新版に組み込まれます。

Barco マニュアルの最新版は、Barco の Web サイト (www.barco.com) からダウンロードできます。

製品セキュリティ問題対応

グローバルな技術リーダーである Barco は、Barco の知的財産権を保護しながら、お客様に安全なソリューションとサービスを提供することに努めています。製品のセキュリティの問題があると、製品のセキュリティ問題対応プロセスが即座に開始されます。特定のセキュリティ問題に対処したり、Barco の製品のセキュリティ上の問題を報告するには、<https://www.barco.com/psirt> に記載されている詳細な連絡先までお知らせください。Barco は、当社の顧客を保護するために、Barco が製品の分析を行い、修正プログラムや緩和策を出すまで、セキュリティ上の脆弱性を公開したり確認したりいたしません。

特許に対する保護

本製品は、特許取得済みおよび特許申請中のアプリケーションを使用しています。詳細は、<https://www.barco.com/en/about-barco/legal/patents> を参照してください。

商標

本書に記載されているブランド名と製品名は、各所有者の商標、登録商標、または著作権である場合があります。これらのブランド名および製品名は、いずれも説明上、または例として挙げたものであり、その製品やメーカーを宣伝するものではありません。

目次

1	紹介	7
1.1	ClickShare の一般的なガイドライン	8
1.2	設置要件	9
1.3	セキュリティに関する推奨事項	10
1.4	ネットワーク デプロイメント要件	11
2	CB Core, CB Pro のイントロダクション	13
2.1	コラボレーションバー	14
2.2	会議 Button	17
3	設置プロセス	19
3.1	設置の概要	20
4	CB Core, CB Pro のインストール中	21
4.1	設置方法	22
4.2	機器の設置	23
4.2.1	壁掛けに立てて設置	23
4.2.2	平らな場所に立てて設置します	23
4.2.3	壁に取り付け	24
4.2.4	ディスプレイの一部として設置	25
4.3	ハードウェア接続	26
4.3.1	電源の接続	26
4.3.2	ディスプレイを接続する	28
4.3.3	LAN 接続	30
4.3.4	WiFi 接続	31
4.4	Button のペアリング	33
4.5	初めての利用	34
4.5.1	クイックユース	34
4.5.2	ClickShare コンフィグレーションウィザード	35
4.5.3	XMS Cloud 登録	41
4.5.3.1	PC オンボーディング	41
4.5.3.2	モバイル オンボーディング	43
5	ClickShare のコンフィギュレーター	49
5.1	ログインページ	50
5.2	コンフィギュレーター UI (ユーザーインターフェイス)	51
5.2.1	コンフィギュレーターの UI (ユーザーインターフェイス) について	51

5.2.2	ヘッダー	51
5.2.3	サイドバー	52
5.2.4	メインウィンドウ	53
5.3	ダッシュボード	56
5.4	個人用設定	57
5.4.1	画面に表示される ID	57
5.4.2	壁紙	58
5.4.3	構成ファイル	60
5.5	会議バー	61
5.5.1	カメラ	61
5.5.2	ビデオ	63
5.6	ディスプレイ	65
5.6.1	ディスプレイ	65
5.7	WiFiとネットワーク	68
5.7.1	WiFi設定	68
5.7.2	LAN 設定	71
5.7.3	サービス	73
	5.7.3.1 モバイル装置	73
	5.7.3.2 PresentSense	74
	5.7.3.3 REST API	74
	5.7.3.4 SNMP	74
5.8	セキュリティ	76
5.8.1	セキュリティ レベル	76
5.8.2	パスワード	77
5.8.3	HTTP 暗号化	78
5.9	システム	79
5.9.1	Base Unit のステータス	79
5.9.2	省電力設定	80
5.9.3	Button	81
5.9.4	黒板	82
5.9.5	XMS	83
5.10	サポートと更新	84
5.10.1	ファームウェア更新	84
5.10.2	トラブルシューティング	86
	索引	89

紹介

1

1.1	ClickShare の一般的なガイドライン	8
1.2	設置要件	9
1.3	セキュリティに関する推奨事項	10
1.4	ネットワーク デプロイメント要件	11

この文書について

このインストールマニュアルは、CB Core, CB Pro の設定とインストールを支援することを目的としたガイドラインです。ClickShare システムの日常的な使用方法については、ユーザーガイドを参照してください。

スタートについて

この章では、安全およびセキュリティに関する重要な注意事項やヒントについて説明します。この情報は、損傷や機能の喪失を防ぐために重要です。

インストールを開始する前に、この章全体をお読みください!

このドキュメントで使用される「CB Core, CB Pro」という用語の明確化

このドキュメントで「CB Core, CB Pro」という用語を使用している場合、その内容が次の Barco 製品に適用されることを意味しています。

- ClickShare CB Core
- ClickShare CB Pro

モデル認証名

CB3010S



CB Core, CB Pro のバージョンによっては、本マニュアルに記載される図の一部が異なるように見える場合があります。これは、説明されている機能には何の影響も及ぼしません。

1.1 ClickShare の一般的なガイドライン

概要

- Base Unit と Button を最新の状態に保ちます。最適なエクスペリエンスを提供し、システム全体のセキュリティを確保するため、無料アップデートが頻繁に提供されます。
- 最適なユーザーエクスペリエンスのために、Base Unit をネットワークに接続します（有線またはワイヤレス接続）。そうすることで、ゲストも従業員も、ワイヤレスネットワークから切断したり、インターネット接続を失ったりすることなく、Airplay、Google Cast、ClickShare アプリなどの BYOD (Bring Your Own Device) サービスを利用できます。
- 高品質かつ低遅延のワイヤレス会議を行うには、Button と Base Unit を直接接続してください。
- 金属製のシェル内に取り付けないように、Base Unit を開いた状態で取り付けます。
- 最適なユーザーエクスペリエンスを実現するために、ClickShare の BYOD サービスは、両方ともさまざまな方法でプレゼンスと近接検出を実行しています。これらのメカニズムを最大限に活用するには、ClickShare Base Unit を会議室内に設置することを強くお勧めします。このときは、閉じたキャビネットではなく、ディスプレイの近くに設置してください。
- 最適なセキュリティのためにデフォルトのパスワードを変更します。
- BYOD プロトコルを有効にして、ClickShare アプリを共有するために Base Unit を会社ネットワークに接続する場合は、スタンバイモードを「エコスタンバイ」に変更することを強くお勧めします。そうしないと、BYOD プロトコル、ClickShare アプリ、およびおそらく ClickShare Button が Base Unit をスタンバイから起動できなくなります。

1.2 設置要件

環境温度条

最高周囲温度: 40°C (104°F)

最低周囲温度: 0°C (32°F)

保管温度: -10°C ~ +60°C (14°F ~ 140°F)

湿度条件

保管: 0 ~ 90%相対湿度、非凝縮

動作: 0 ~ 85%相対湿度、非凝縮

環境条件の確認

ClickShare が過度の埃にさらされる環境に設置する場合は、埃が ClickShare の吸気口に到達する前に埃を除去する必要があります。ClickShare から過剰な粉塵を除去または遮蔽する装置または構造を推奨します。これが実行可能な解決策でない場合、ClickShare は、空気のきれいな環境に移さなければなりません。

敵対的な空気中の微粒子の有害な影響から常に ClickShare を確実に保護することは、お客様の責任です。Barco は、ClickShare に対して過失、放置、不適切な使用があった場合、保証または保証交換を拒否する権利を有します。



ClickShare 製品は、事務所や屋内環境限定で使用することを想定しています。

本製品を使用するための最高許容高度: 3,000m (98,43Ft)。中国の規制のため、中国本土の最高高度は 2000 メートル (6,561 フィート) に制限されています。、

1.3 セキュリティに関する推奨事項

Base Unit と Button を最新の状態に保ちます

Barco では、デバイスを常に改善しています。つまり、既存の機能を拡張して新しく追加しているだけでなく、セキュリティパッチも提供しています。そのため、Base Unit に最新のファームウェアをインストールして最新の状態に保ち、Button もアップデートされるようにすることをお勧めします。これを簡単にするために、インターネットに接続して自動アップデートを受けることを強くお勧めします。

すべての Button を確実に更新するため、Barco は、Base Unit が更新された直後に、すべての Button を Base Unit とペアリングすることを強く推奨します。

XMS Cloud

XMS Cloud の管理プラットフォームで、Base Unit を管理してアップデートを受け取ります。

XMS Cloud は、異なる場所に分布されたデバイスのコンフィギュレーション、リモート管理およびリアルタイムステータス監視のための、Barco のセキュアなクラウドベースソリューションです。デジタルワークスペースを促進する、使いやすい自動の（スケジュール設定できる）ソフトウェアのアップデート、Base Unit のコンフィギュレーション、テンプレートの作成、リモート壁紙のインストール、ユーザー管理、およびインサイトを有効にします。

Base Unit を安全に保ちます

デバイスを適切に固定し、Base Unit を取り外したり交換したりできないようにします。Barco は、付属のケンジントロック機能の使用をお勧めします。

デフォルトの Wi-Fi パスワードを変更する

Barco では、デフォルトの WiFi パスワード x (WPA2-PSK モードを使用している場合にのみ適用される) を変更することを強くお勧めします。これにより、デバイスへ物理的にアクセスしない悪意のある人物にとって、Base Unit と Button の間のトラフィックを傍受するのがさらに難しくなります。

コンフィギュレーターのデフォルトのパスワードを変更します

Barco では、コンフィギュレーターのデフォルトのパスワードを変更するよう強くお勧めします。Base Unit にローカルまたは近接ネットワーク経由でアクセスできる、悪意のある人物は、価値のある情報 (WiFi 資格情報など) にアクセスするために、Base Unit のコンフィギュレーターにアクセスできるかどうかを試みます。

1.4 ネットワーク デプロイメント要件

要件について

特定のポートや通信プロトコルは、企業のファイアウォールを通して開放または許可されなければなりません。これらのポートは、ClickShare が通信し、効率的に機能するために必要です。

必要なポート

現地の IT 担当者に連絡し、以下の必要なポートを開いてもらってください：

送信側 / 受信側	プロトコル	ポート
ClickShare Button (ワイヤレス プレゼンテーション)	TCP	2345; 6544
ClickShare デスクトップおよびモバイル アプリ (ワイヤレスプレゼンテーション)	TCP	6541 - 6545
	UDP	5353; 1900
ワイヤレス会議	TCP	1235; 9999
	UDP	1234
AirPlay	TCP	4100 - 4200; 700; 7100; 47000
	UDP	4100 - 4200; 5353
Google Cast	TCP	8008、8009、9080
	UDP	1900; 5353; 32768; 61000
ClickShare のコンフィギュレーター	TCP	80、443
XMS Cloud	TCP	443
XMS Edge	TCP	4003
自動更新	TCP	80、443
SNMP	UDP	161; 162
REST API	TCP	4003

必要なファイアウォールルール

ファイアウォールに以下のルールを追加します：

- **XMS Cloud** アウトバウンド TCP ポート 443 へ：
 - xms.cloud.barco.com
 - *.azure-devices.net
 - *.core.windows.net
 - global.azure-devicesprovisioning.net
- **自動更新**、アウトバウンド TCP ポート 443：
 - update.cmp.barco.com
 - assets.cloud.barco.com
- **マイ Barco ポータル**、アウトバウンド TCP ポート 443：
 - *.barco.com

CB Core, CB Pro の イントロダクション

2

2.1	コラボレーションバー	14
2.2	会議 Button	17

導入について

製品の詳細については、本章で説明します。また、マニュアルの残りの部分を効果的に進めるために必要ないくつかの共通用語を確立しておきます。

地域別バリエーション

購入場所によって、Base Unit および付属品は地域毎に異なります。



CB Core, CB Pro は、リージョンロックされており、オリジナル地域以外では使用できません!

2.1 コラボレーションバー

コラボレーションバーとは



ClickShare コラボレーションバーは、マニュアルの中では「Base Unit」と表記されます。

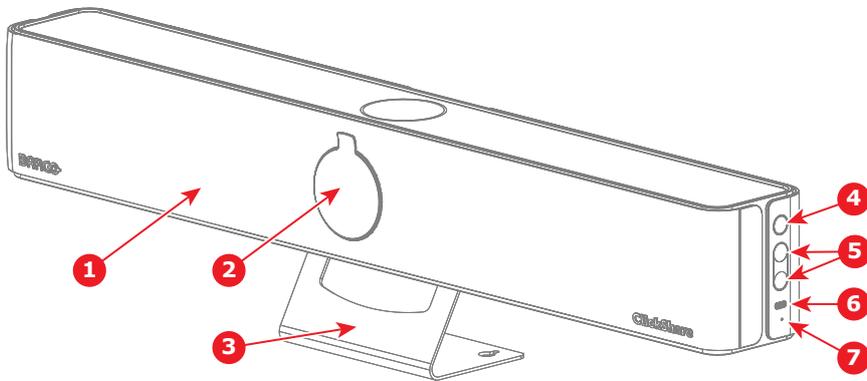
コラボレーションバーは、ClickShare の機能をコントロールして有効にします。カメラ、発言者、スピーカー、超音波発言者が内蔵されています。このバーには、2つのバリエーションがあります：

- **CB Core**、エッセンシャルな ClickShare エクスペリエンスを有効にします。
- **CB Pro**、完全な ClickShare エクスペリエンスを有効にします。



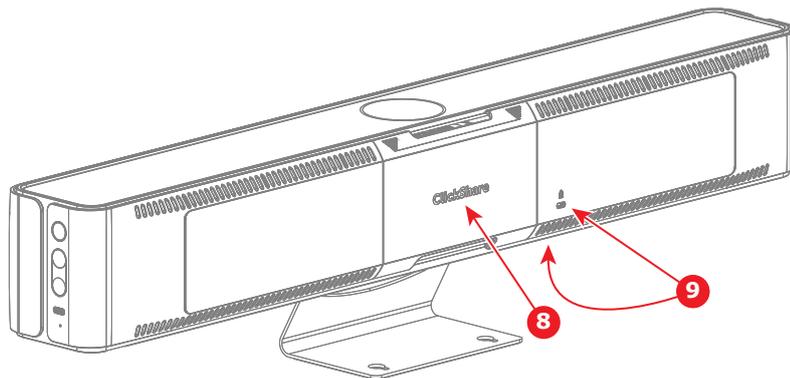
CB Core, CB Pro は、世代4 Button とのみ互換性があります！詳しくは、[17 ページ](#)、[会議 Button](#) を参照してください。

コラボレーションバーのコンポーネント



画像 2-1 レンズカバー装着時の正面図

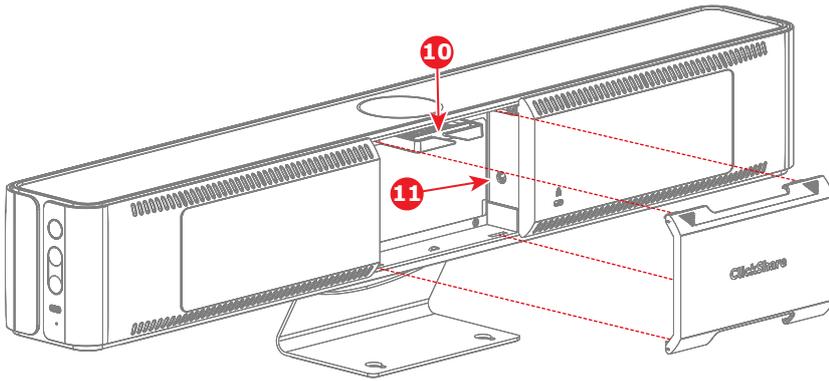
- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1 前面カバー | 5 ボリューム調節 |
| 2 カメラレンズカバー | 6 Button のペアリング用 USB-C ポート |
| 3 壁掛け / スタンド | 7 リセット Button |
| 4 電源 Button | |



画像 2-2 ケーブルカバーを装着した背面図

- | |
|------------------|
| 8 ケーブルカバー |
| 9 Kensington ロック |

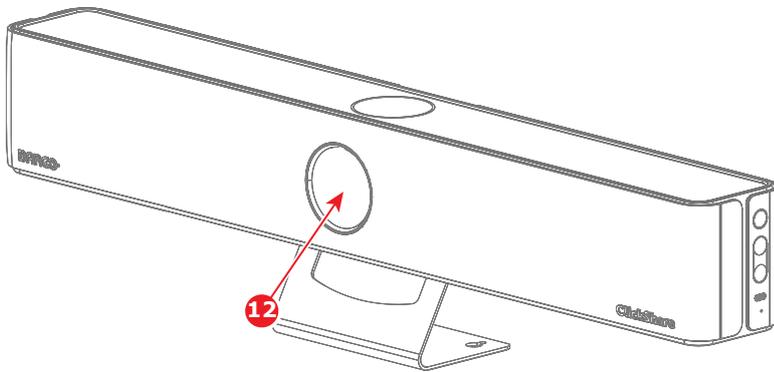
ケーブルカバーを取り外すと、接続部とポートにアクセスできるようになります。



画像 2-3 ケーブルカバーを外した背面図

- 10 ケーブルバインダー
- 11 電源接続

レンズカバーを外すとカメラのレンズが見えるようになります。

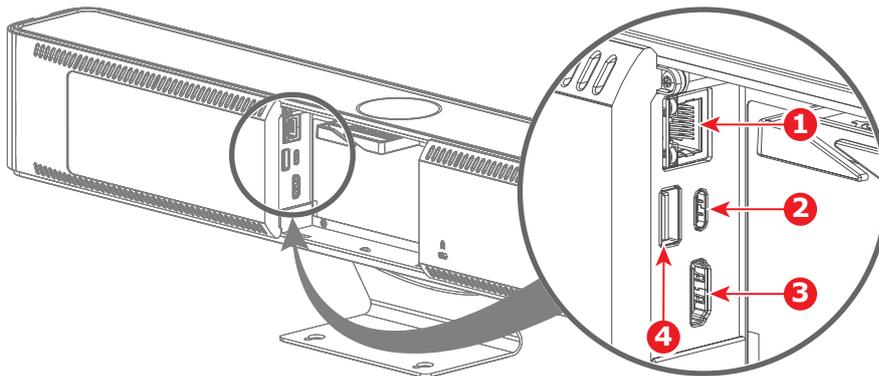


画像 2-4 レンズカバーを外した正面図

- 12 カメラレンズ

モデルによって利用できるポートに違いがあります：

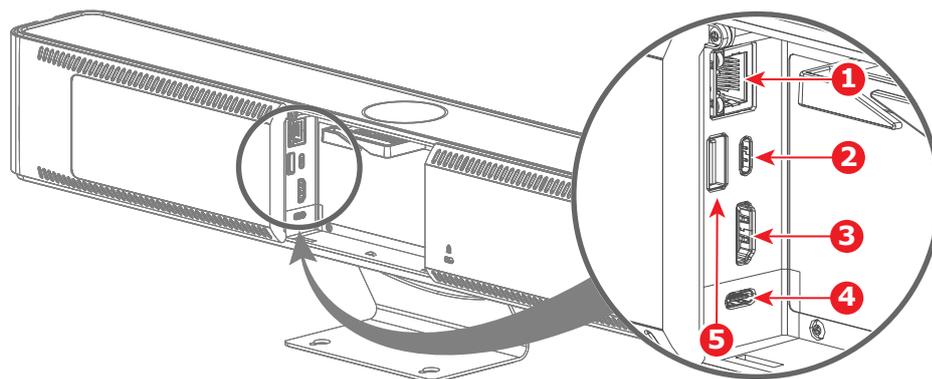
- CB Core のポート：



画像 2-5 CB Core (ケーブルカバーなし)

- 1 LAN ポート
- 2 USB-C ポート (ディスプレイ用)
- 3 HDMI 出力ポート
- 4 USB A ポート

- CB Pro のポート：



画像 2-6 CB Pro (ケーブルカバーなし)

- | | |
|---|---|
| <p>1 LAN ポート
2 USB-C ポート (ディスプレイ用)
3 HDMI 出力ポート</p> | <p>4 USB-C ポート
5 USB-A ポート(タッチ機能も兼ねる)</p> |
|---|---|

コラボレーションバー LED リング

カメラモジュールの周囲には LED リングがあり、ClickShare とその周辺機器の現在の状態が一目でわかるようになっています。

それぞれの色やアニメーションが何を表しているかは、下の表をご覧ください：

LED ステータス:	意味
白色でゆっくり点滅	起動中 スタンバイ
赤 - 紫色の回転アニメーション	共有開始 ファームウェアのアップデート
安定した白	共有 デバイスの電源オン
紫	周辺機器が使用されています
赤色	スピーカーミュート済
緑色の点滅	ペアリング中
赤の点滅	エラー

2.2 会議 Button

会議 Button とは

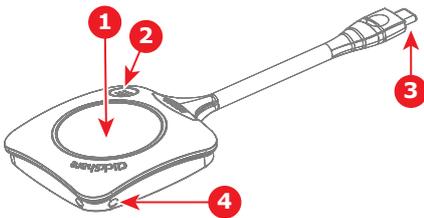


会議 Button は、マニュアルの中では「Button」と表記されます。

コンファレンス Button は、小型の USB 給電式ワイヤレスデバイスであり、ClickShare の共有や利用をボタン 1 つで簡単に行うことができます。

世代 4 Button の概要

世代 4 Button は、Base Unit とペアリングすることで、デバイスと接続するための USB-C コネクタによって簡単に識別できます。



画像 2-7 世代 4 Button

- 1 共有ボタン
- 2 ClickShare メニューボタン
- 3 USB-C コネクタ
- 4 ストラップホール

Button の機能

ボタンを押すことで、さまざまな効果が得られます。また、複数のプレゼンターの相互作用やシームレスな切り替えも可能です。

詳細については、以下の表を参照してください。

アクション	機能
共有ボタンを短く押します	共有の開始
共有ボタンの長押し	共有を引き継ぐ
メニューボタンを押します	ClickShare アプリを表示

Button LED リング

シェアボタンの周りには LED リングがある。このリングの色やアニメーションは、Button が現在行っていることやその状態を表示しています。

可能な色またはアニメーションとその意味については、以下の表を参照してください：

LED	意味
ホワイトフィル	接続の設定
安定した白	接続してすぐに使用可能
白点滅	接続できません ClickShare アプリが実行されません
白い高速回転	デバイスがビジー状態 デバイスが処理中
赤の常時点灯	共有
赤の点滅	エラー

設置プロセス

3

3.1 設置の概要.....	20
----------------	----

設置プロセスについて

一般的な設置方法のチェックリストとハイレベルな概要。具体的な内容や可能性については、各トピックのリンクを参照してください。

3.1 設置の概要

1. 会議室の最適な場所を決める、または用意します。カメラ、スピーカー、サウンドが出席者の方向に向けられ、見通しのよい場所を確保することをお勧めします。詳細は、[22 ページ](#)、[設置方法](#)を参照してください。
2. 必要であれば、Base Unit を組み立て、Base Unit を選択した場所に物理的に取り付けます。詳細は、[23 ページ](#)、[機器の設置](#)を参照してください
3. Base Unit を必要なケーブルで接続するか、必要なワイヤレス接続を設定します。会議室によっては異なる接続が必要な場合があります。詳しくは、[26 ページ](#)、[ハードウェア接続](#)を参照してください。
4. オプションの Button を Base Unit にペアリングします。詳しくは、[33 ページ](#)、[Button のペアリング](#)を参照してください。
5. ClickShare コンフィギュレーターにログインして初期化します。詳しくは、[35 ページ](#)、[ClickShare コンフィグレーションウィザード](#)を参照してください。

または

セットアップなしで、すぐにコンテンツを共有してミーティングを始めます。詳しくは、[34 ページ](#)、[クイックユース](#)を参照してください。

6. Base Unit を XMS Cloud に登録し、5年間の SmartCare 保証を請求します。詳しくは、[41 ページ](#)、[XMS Cloud 登録](#)を参照してください。
7. ClickShare コンフィギュレーターを使用して、Base Unit の高度な機能を変更または利用できます。詳しくは、[49 ページ](#)、[ClickShare のコンフィギュレーター](#)を参照してください。
8. ペアリングされたボタンが接続され、および / または ClickShare アプリがインストールされることで、ClickShare の使用を開始します。詳細は、[ユーザーガイド](#)を参照してください。

CB Core, CB Pro の インストール中

4

4.1	設置方法.....	22
4.2	機器の設置.....	23
4.3	ハードウェア接続.....	26
4.4	Button のペアリング.....	33
4.5	初めての利用.....	34

設置について

この章では、Base Unit とオプションの Button を物理的にインストールし、接続するさまざまな方法について説明します。

4.1 設置方法

可能な物理的コンフィグレーション

Base Unit は複数のコンフィグレーションで設置できます:

- ウォールマウントに立てる。詳しくは、[23 ページ](#)、[壁掛けに立てて設置](#)を参照してください。
- 平らな面に立てる。詳しくは、[23 ページ](#)、[平らな場所に立てて設置します](#)を参照してください。
- 壁に取り付ける。詳しくは、[24 ページ](#)、[壁に取り付け](#)を参照してください。
- オプションのディスプレイマウントアクセサリを使用して、ディスプレイの一部として装着する。詳しくは、[25 ページ](#)、[ディスプレイの一部として設置](#)を参照してください。

Base Unit を設置する場所を選ぶ際には、以下の点に注意してください:

- Base Unit をディスプレイの近くに設置します。
- 会議室の他の場所への見通しを確保します。
- 金属製の筐体に Base Unit を設置しては**なりません!**
- 天井に Base Unit を取り付け**はなりません!**



取り付けの関係でコネクタ側へのアクセスが制限される場合は、必要なケーブルをまず Base Unit に接続してください。詳しくは、[26 ページ](#)、[ハードウェア接続](#)を参照してください。

可能なネットワークコンフィグレーション

会議室のタイプ、ローカルネットワークの設定方法、必要な要件に応じて、ClickShare をネットワークに統合するさまざまな方法を選択できます。可能な方法は以下の通りです:

- ネットワーク接続セットアップ。(デフォルト)
- 専用のネットワーク接続セットアップ。

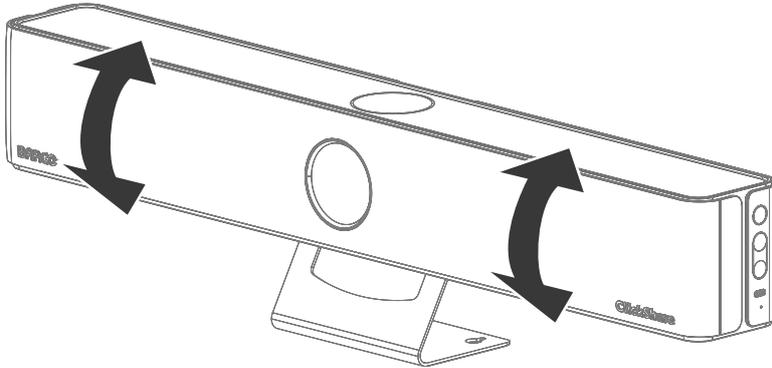
ネットワークコンフィギュレーションの設定方法については、[68 ページ](#)、[WiFi設定](#)を参照してください。

4.2 機器の設置

4.2.1 壁掛けに立てて設置

壁掛けに立てて

1. Base Unit を希望の場所に置きます。
2. Base Unit が希望の角度になるように傾けます。(オプション)



画像 4-1 可能な傾斜方向



注: 壁掛け金具のベースは、必ず水平に保ち、表面に完全に接触させてください。Base Unit を他の方法で傾けないでください!

4.2.2 平らな場所に立てて設置します

スタンディング設置について

Base Unit を直立した状態で設置するには、十分なスペースと平らな面が必要です。十分な高さが確保できない場合は、壁掛け金具を取り外すという選択肢もあります。

必要なツール

Phillips ドライバー PH2

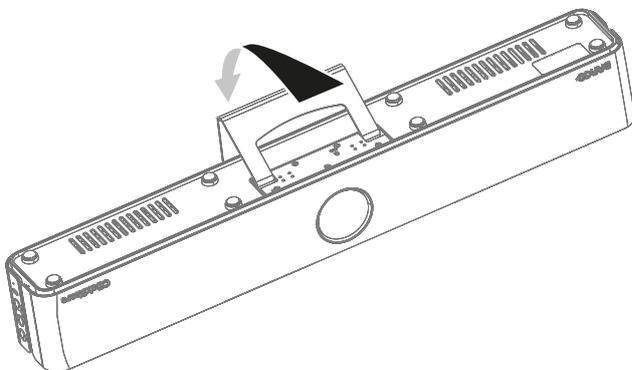
平らな面での設置

1. Base Unit を裏面または逆さまに置きます。



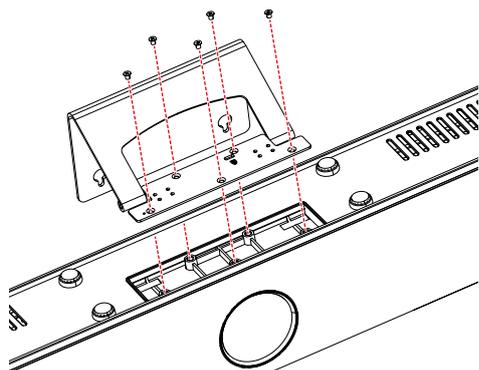
注: カメラを損傷する恐れがあるため、Base Unit を前面に置かないでください!

2. スタンドを後方に倒します。



画像 4-2 壁掛けスタンドの傾斜方向

3. ウォールマウントを Base Unit に固定している 5 本のプラスネジを外します。



画像 4-3 5本のネジを外す場所

 ヒント: 壁掛け金具とネジを安全な場所に保管しておいてください。

- すべてのゴム足が平らな面にしっかりと接触することを確認し、Base Unit を目的の面に直立状態でセットします。

4.2.3 壁に取り付け

ウォールマウントについて

ウォールマウントは、壁に固定できる CB Core, CB Pro に取り付けられます。Base Unit が壁にしっかりと固定するために 2 本のネジが必要です。

2 本の必要なネジは、以下の最低要件に適合していなければなりません:

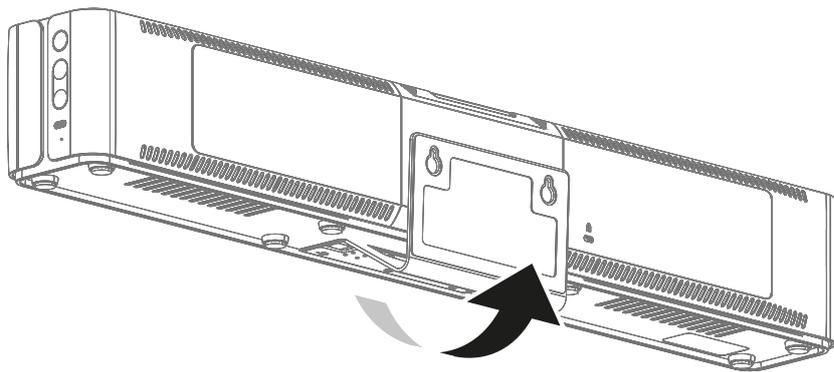
- M4 ネジ
- 直径 8 mm のスクリューヘッド
- 長さ 2.54 センチ (1 インチ)



これらのネジは、CB Core, CB Pro には含まれていません!

壁への取り付け

- Base Unit を設置する壁の位置を決め、準備します。
- ウォールマウントを Base Unit の裏側に向けて傾けます。

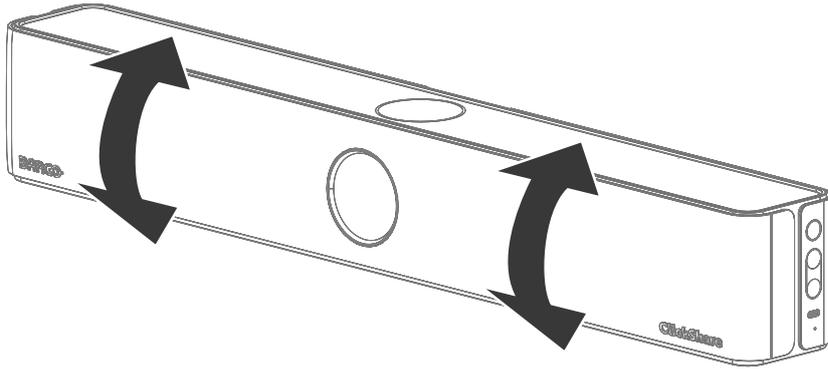


画像 4-4 背面から見たウォールマウントの傾斜方向

- 上記の要件に適合するネジ 2 本を、壁掛け金具にある鍵穴スロットに通します。

 注: ネジが完全に締まっていることを確認してください!

- Base Unit が希望の角度になるように傾けます。(オプション)



画像 4-5 Base Unit が壁に取り付けられている間に可能な傾斜方向

4.2.4 ディスプレイの一部として設置

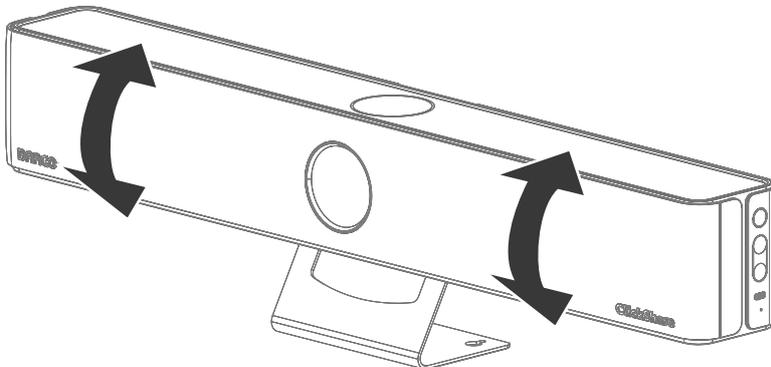
ディスプレイの取り付けについて

Base Unit をディスプレイにしっかりと固定するには、別途サポートフレームが必要です。このフレームは、ディスプレイの背面に取り付けられ、Base Unit を配置する接続ポイントを作ります。

ディスプレイマウントは、CB Core, CB Pro には付属していませんが、オプションアクセサリとして入手可能です。

ディスプレイへの取り付け

1. Base Unit がディスプレイに対してどこに来るかを決めます。
 - ▶ ディスプレイの上
 - ▶ ディスプレイの下
 - ▶ ディスプレイ側面
2. ディスプレイマウントのマニュアルを参照し、Base Unit を選択した場所に取り付けます。
3. Base Unit が希望の角度になるように傾けます。(オプション)



画像 4-6 可能な傾斜方向

4.3 ハードウェア接続

4.3.1 電源の接続

Base Unit の電源について

Base Unit への電源供給には 2 つの方法があります：

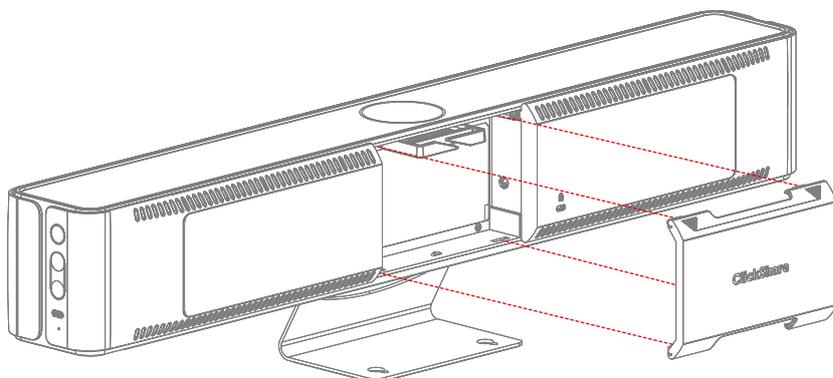
- 付属アダプターで
- 少なくとも **65W** の USB-C 給電に対応したディスプレイを通して



両方のオプションが接続されている場合、アダプターは、Base Unit の充電を優先します。

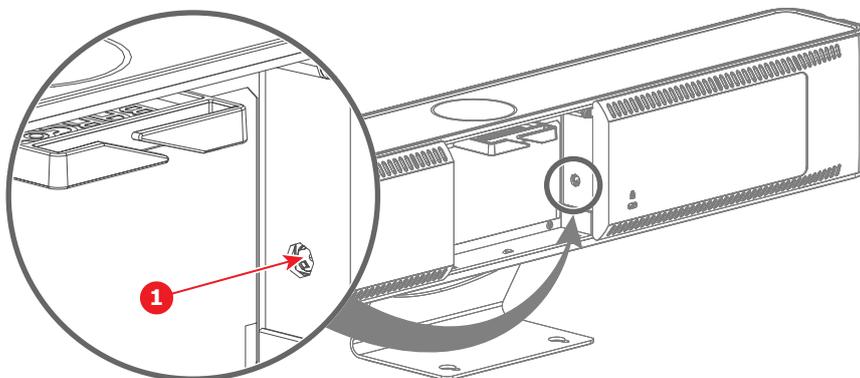
アダプターによる電源供給

1. Base Unit からケーブルカバーを取り外します。



画像 4-7 ケーブルカバーの取り外し

2. アダプターを Base Unit の電源ポートに接続します。（参照 1）



画像 4-8



警告: 箱に入っていた、またはスペアとして提供されていた認定 Barco アダプターを必ず使用してください。異なるアダプターを使用すると、深刻な損傷を引き起こす可能性があります！

3. ケーブルバインダーにケーブルを通します。（オプション）

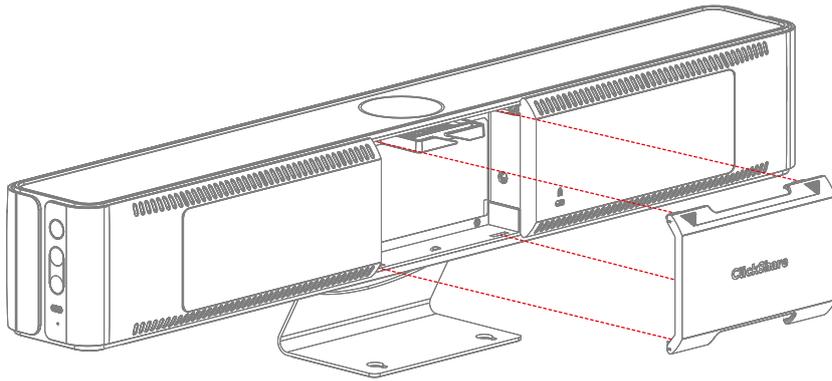
4. アダプターをコンセントに差し込みます。

Base Unit に十分な電力が供給されると、前面のリングが点灯します。

5. それ以上接続する必要がない場合は、Base Unit の背面にあるケーブルカバーを閉じます。

USB-C ディスプレイへの給電

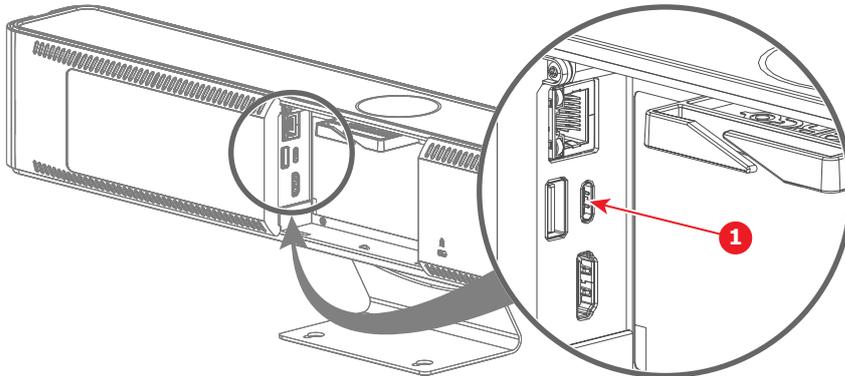
1. Base Unit 背面のケーブルカバーを取り外します。



画像 4-9 ケーブルカバーの取り外し

2. Base Unit 背面の「USB-C」ポートにディスプレイを接続します。(参照 1)

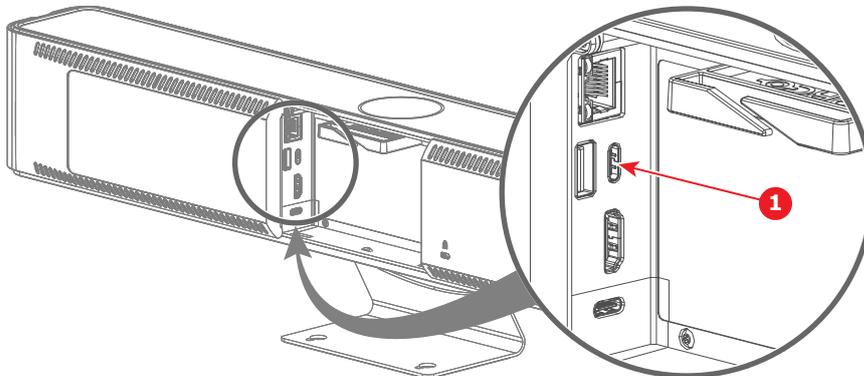
- CB Core の場合:



画像 4-10 USB-C ケーブルの接続場所

- 1 USB-C ケーブル

- CB Pro の場合:



画像 4-11 USB-C ケーブルの接続場所

- 1 USB-C ケーブル

 **注:** この接続を使用して、Base Unit の充電と、接続したスクリーンへの画像表示の両方を行うことが可能です。

Base Unit に十分な電力が供給されると、前面のリングが点灯します。

- 3. ケーブルバインダーにケーブルを通します。(オプション)**
- 4. それ以上接続する必要がない場合は、Base Unit の背面にあるケーブルカバーを閉じます。**

4.3.2 ディスプレイを接続する

ディスプレイ接続について

ディスプレイを Base Unit に接続するには 2 つの方法があります：

- HDMI
- USB-C

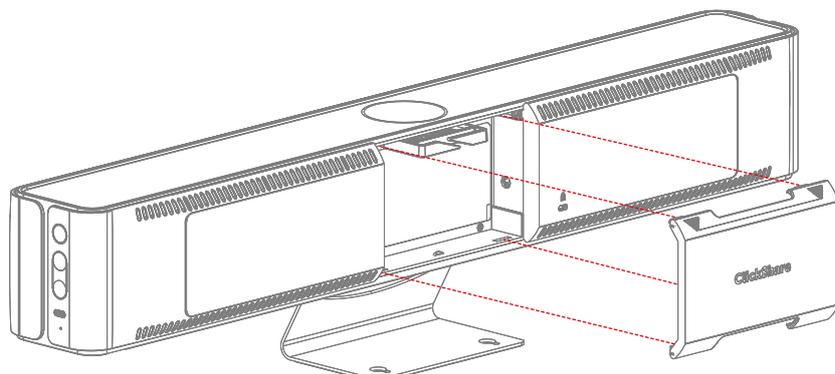
どちらの接続も最大 4K ビデオ出力をサポートします。



同時に 2 台のディスプレイを取り付けることはできません！

HDMI 接続

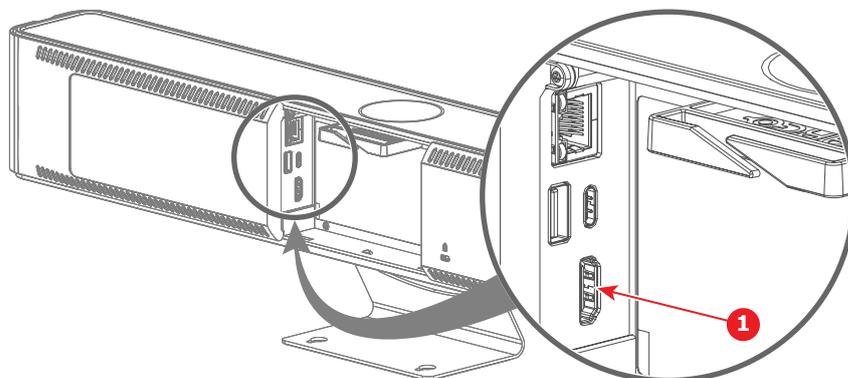
1. Base Unit 背面のケーブルカバーを取り外します。



画像 4-12 ケーブルカバーの取り外し

2. Base Unit の「HDMI」ポートからディスプレイの「HDMI in」ポートに「HDMI」ケーブルを接続します。（参照 1）

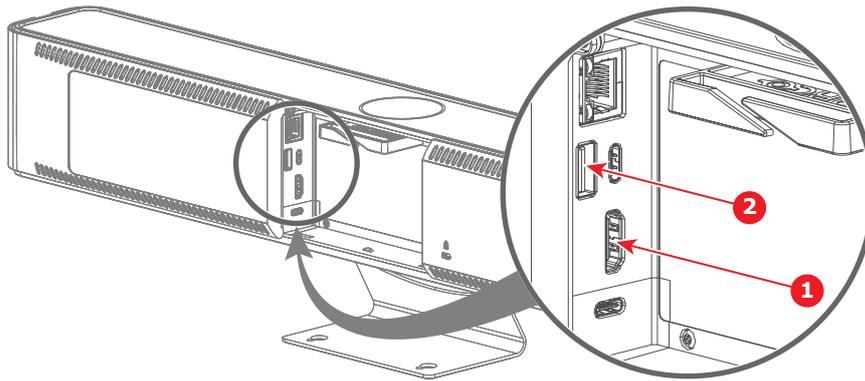
- CB Core の場合：



画像 4-13 HDMI ケーブルの接続場所

- 1 HDMI ケーブル

- CB Pro の場合：



画像 4-14 HDMI ケーブルと USB-A ケーブルの接続場所 (タッチスクリーンのみ)

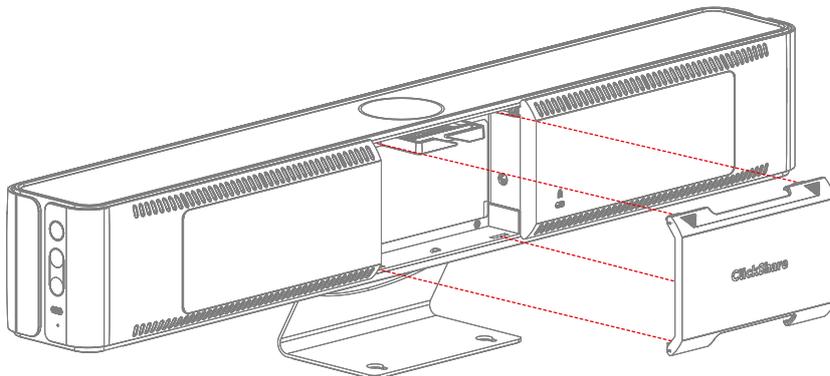
- 1 タッチスクリーン USB-A ケーブル
- 2 HDMI ケーブル

ディスプレイが正しく設定されると、ClickShare セットアップスプラッシュ画面がモニターに表示されます。

3. ディスプレイはタッチスクリーンですか？ (CB Pro のみサポート)
 - ▶ はい、「USB-A」ケーブルを Base Unit の「USB-A」ポートに接続します。(参照 2)
 - ▶ いいえ、次のステップに進みます。
4. ケーブルバインダーにケーブルを通します。(オプション)
5. それ以上接続する必要がない場合は、Base Unit の背面にあるケーブルカバーを閉じます。

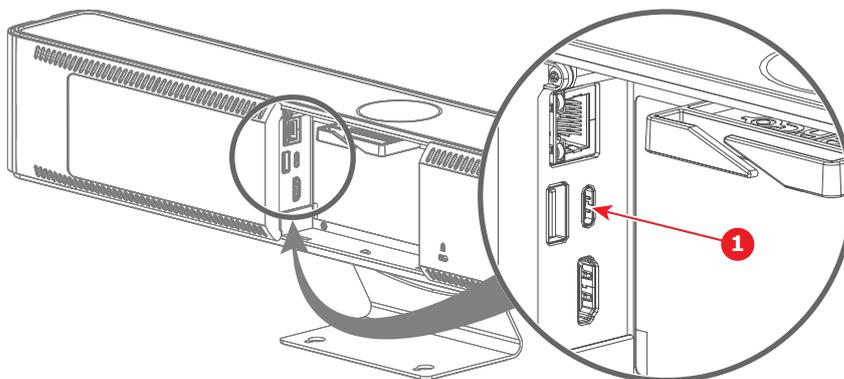
USB-C 接続

1. Base Unit 背面のケーブルカバーを取り外します。



画像 4-15 ケーブルカバーの取り外し

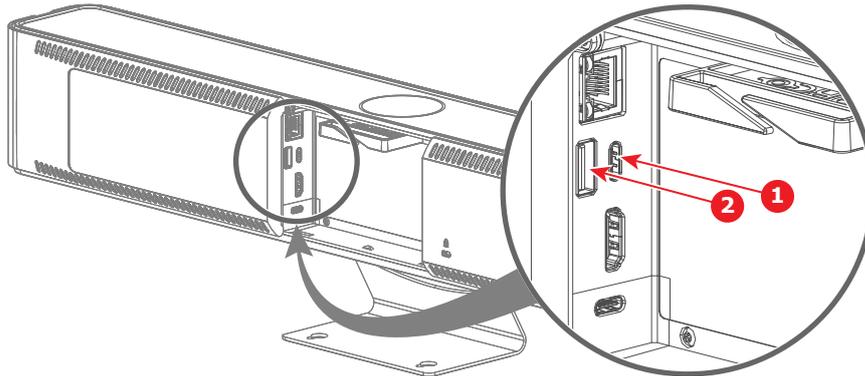
2. 「USB-C」ケーブルまたは「USB-C to HDMI」ドングルを使用して、Base Unit の背面にある「USB-C」ポートにディスプレイを接続します。(参照 1)
 - CB Core の場合:



画像 4-16 USB-C ケーブルまたはドングルの接続場所

- 1 USB-C ケーブルまたは USB-C HDMI ドングル

- CB Pro の場合:



画像 4-17 USB-C ケーブルまたは dongle と USB-A ケーブルの接続場所 (タッチスクリーンのみ)

- 1 USB-C ケーブルまたは USB-C HDMI Dongle
- 2 タッチスクリーン USB-A ケーブル

 注: この接続を使用して、Base Unit の充電と、接続したスクリーンへの画像表示の両方を行うことが可能です。

ディスプレイが正しく設定されると、ClickShare セットアップスプラッシュ画面がモニターに表示されます。

3. ディスプレイはタッチスクリーンですか? (CB Pro のみサポート)
 - ▶ はいであり、タッチ機能は「USB-C」接続でサポートされます。
 - ▶ はいであり、タッチ機能は「USB-C」接続でサポートされませんので、「USB-A」ケーブルを Base Unit の「USB-A」ポートに接続します。(参照 2)
 - ▶ いいえ、次のステップに進みます。
4. ケーブルバインダーにケーブルを通します。(オプション)
5. それ以上接続する必要がない場合は、Base Unit の背面にあるケーブルカバーを閉じます。

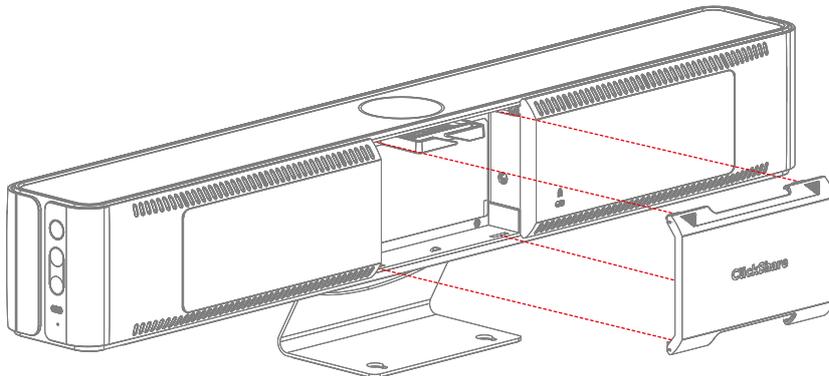
4.3.3 LAN 接続

LAN 接続について

CB Core, CB Pro を LAN に接続することで、Base Unit の設定と管理をリモートで行うことができます。

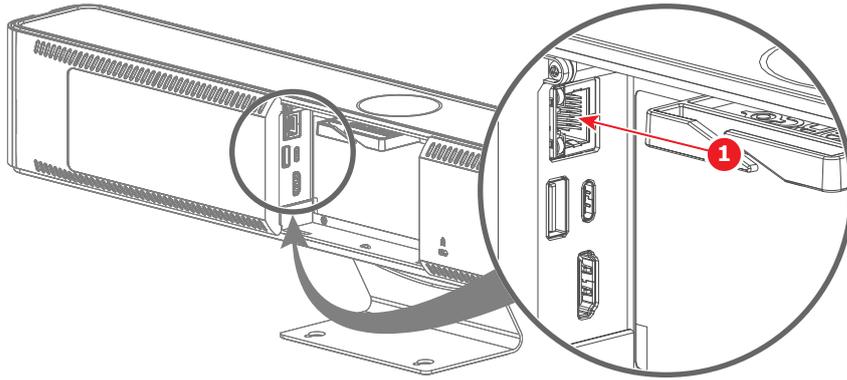
接続方法

1. Base Unit 背面のケーブルカバーを取り外します。



画像 4-18 ケーブルカバーの取り外し

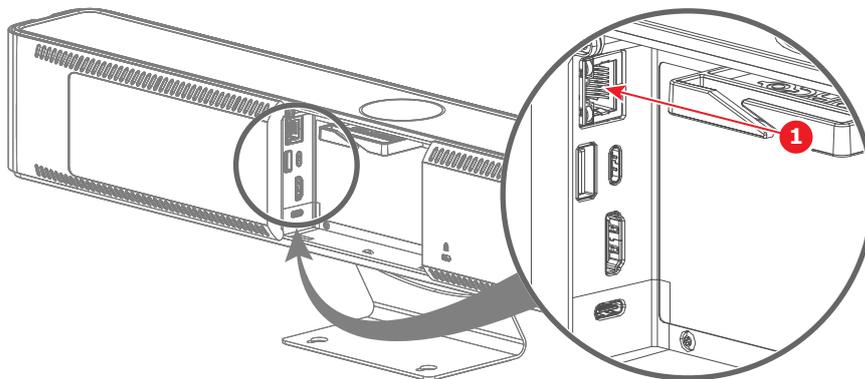
2. LAN から「イーサネット」ケーブルを、Base Unit 背面の「イーサネット」ポートに接続します。(参照 1)
 - CB Core の場合:



画像 4-19 LAN ケーブルの接続場所

1 LAN ケーブル

- CB Pro の場合:



画像 4-20 LAN ケーブルの接続場所

1 LAN ケーブル

3. ケーブルバインダーにケーブルを通します。 (オプション)
4. ネットワークから Base Unit に割り当てられた IP アドレスを見つけます。
5. 任意のブラウザで IP アドレスに移動します。
 - 📖 注: ブラウザの設定によっては、セキュリティ警告が表示されることがあります。後でこの警告が出ないようにするには、[78 ページ](#)、[HTTP 暗号化](#) を参照してください。
6. コンフィギュレーターを初期化するには、[35 ページ](#)、[ClickShare コンフィグレーションウィザード](#) を参照してください
7. それ以上接続する必要がない場合は、Base Unit の背面にあるケーブルカバーを閉じます。

4.3.4 WiFi 接続

WiFi 接続について

WiFi ネットワークは、起動した瞬間から Base Unit により設定されます。

接続方法

1. Base Unit の電源が入っていることを確認します (詳細については、[26 ページ](#)、[電源の接続](#) を参照)
2. ワイヤレスデバイスを SSID に接続し、パスワードを入力します。
デフォルトの SSID は「[ClickShare-\[serial number\]](#)」であり、デフォルトのパスワードは次のとおりです。「[clickshare](#)」
3. 任意のブラウザで Base Unit の IP アドレスに移動します。

📖 注: デフォルトの IP アドレスは「[192.168.2.1](#)」です。



注: ブラウザの設定によっては、セキュリティ警告が表示されることがあります。後でこの警告が出ないようにするには、[78 ページ](#)、[HTTP 暗号化](#)を参照してください。

4. コンフィギュレーターを初期化するには、[35 ページ](#)、[ClickShare コンフィグレーションウィザード](#)を参照してください

4.4 Button のペアリング

Button について

Button は、Base Unit とペアになっていなければ動作しません。ペアリングされていない Button は、コンテンツを共有したり、ディスプレイに接続したりすることができません。

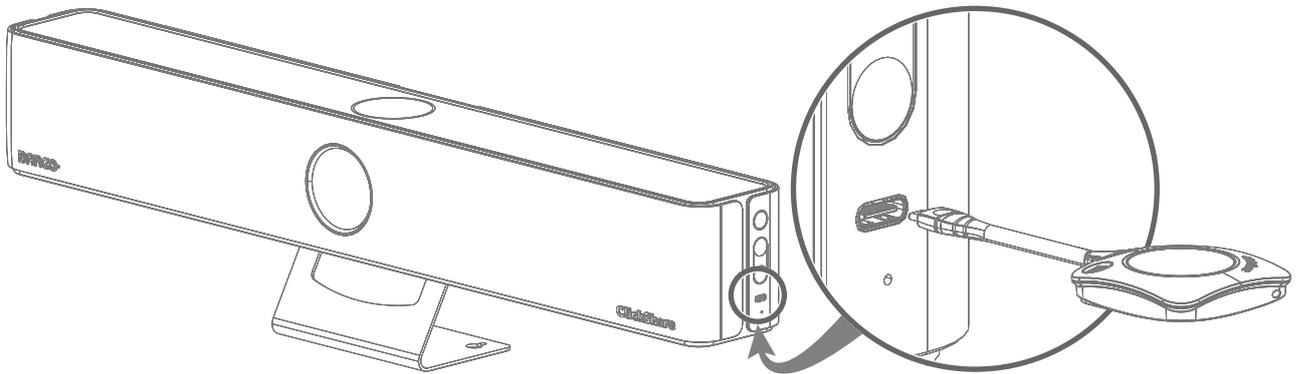


Button を複数の Base Unit とペアリングすることはできません！

Button を別の Base Unit とペアリングすると、Button は、元々リンクされていた Base Unit との接続を失います。

Base Unit のペアリング方法

1. Base Unit の電源が入っていることを確認します。
2. Button を Base Unit の右側にある「USB-C」ポートに接続します。



画像 4-21 Button のペアリング場所

ディスプレイが装着されている場合、スプラッシュスクリーンの下部に「ペアリングとアップデートでビジー」と表示されます。



注: CB Core, CB Pro と互換性があるのは、4.0 世代以上の Button のみです！

3. Button の円が緑色に点灯するまで待ちます。
ディスプレイが装着されている場合、画面下部に「Button のペアリングとアップデート終了」と表示されます。
4. Base Unit から Button を取り外します。
これで Button が使用できるようになりました！

4.5 初めての利用

概要

ディスプレイを取り付けた状態で Base Unit の電源を入れると、ランディングページが表示されます。このランディングページでは、3つの可能な方法を紹介します：

- **クイックユース**：コンフィギュレーションは不要 (**非推奨**)。詳しくは、[34 ページ](#)、[クイックユース](#) を参照してください。
- **コンフィギュレーターウィザード**：コンフィギュレーターの初期化とセットアップを行います。詳しくは、[35 ページ](#)、[ClickShare コンフィグレーションウィザード](#) を参照してください。
- **XMS Cloud:ClickShare** を登録し、5年間の SmartCare 保証を請求します。詳しくは、[41 ページ](#)、[XMS Cloud 登録](#) を参照してください。

4.5.1 クイックユース

クイックユースについて

完全なセットアッププロセスを経ずに、Base Unit を使用します。これは、すぐに行わなければならない緊急の会議や、基本的なテストやデモが必要な場合に便利です。

この状態で Base Unit を使用している間は、すべての高度な機能は使用できません。ただし、内蔵カメラ、発言者、スピーカーは初期設定のまま使用できます。



設定なしで Base Unit を長時間使用することはお勧めしません！

Button のクイックシェア

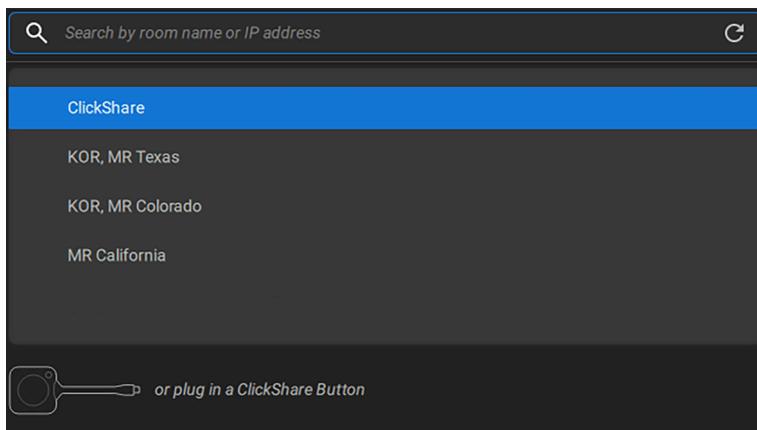
1. 次のように Button をペアリング：[33 ページ](#)、[Button のペアリング](#)
2. ペアリングした Button を、会議を共有または参加するデバイスに差し込みます。
3. LED リングが白く安定したら、Button の中央ボタンを押して共有を開始します。

ClickShare アプリでクイックシェア

1. ClickShare アプリをダウンロードしてインストールします：www.clickshare.app

Windows では、ほとんどの場合、正しいドライバーが自動的にインストールされます：<https://www.barco.com/en/support/software/R3307452>

2. インストールした ClickShare アプリを実行します。
3. ClickShare アプリで希望の会議室を選択します。



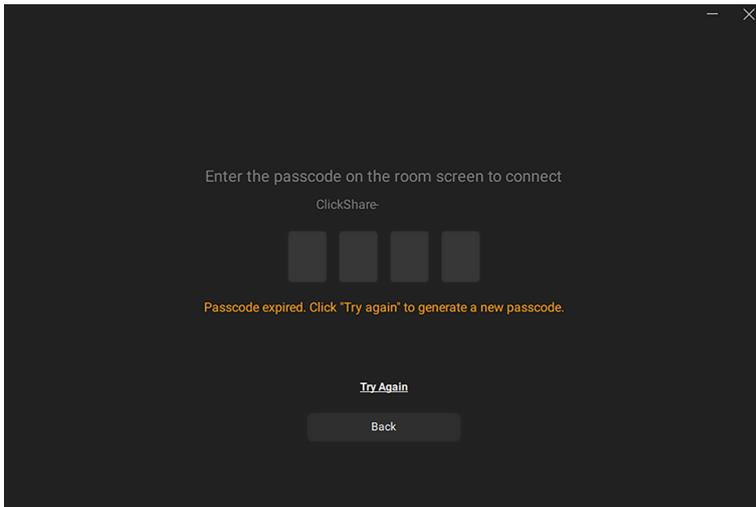
画像 4-22 ClickShare アプリでの会議室選択例



注：設定がない場合、会議室は「ClickShare-[serial number]」となります。

ClickShare アプリの詳細については、ユーザーガイドを参照してください。

4. ディスプレイに表示されたパスコードを入力します。



画像 4-23 アプリ内のパスコードプロンプトの例

パスコードがすぐに消えてしまった場合は、アプリの「Try Again」をクリックしてください。

5. 必要な画面またはウィンドウを選択し、共有を開始します。

4.5.2 ClickShare コンフィグレーションウィザード

コンフィギュレーターについて

コンフィギュレーターは、接続された ClickShare の設定と一般的なセットアップを制御する内部ウェブアプリケーションです。さまざまな ClickShare の機能の変更と起動（解除）を許可。



これらの設定は、セットアップ完了後に変更できます！

コンフィギュレーターの初期設定

1. Base Unit に接続します：
 - ▶ 直接 LAN 接続経由。
 - ▶ 有線 IP アドレスにナビゲートする。詳しくは、[30 ページ](#)、[LAN 接続](#) を参照してください。
 - ▶ WiFi ネットワークに接続する。詳しくは、[31 ページ](#)、[WiFi 接続](#) を参照してください。
2. 任意のブラウザから設定ページに移動します。



注: コンフィギュレーターのデフォルト IP アドレスは [「192.168.2.1」](#) です。



注: ブラウザの設定によっては、セキュリティ警告が表示されることがあります。後でこの警告が出ないようにするには、[78 ページ](#)、[HTTP 暗号化](#) を参照してください。

ClickShare コンフィギュレーターのログインページが表示されます。

3. コンフィギュレーターにログインします：

ClickShareコンフィギュレーターにログイン

ユーザー名:

パスワード:

記憶する。

私はEULAを了解し、プライバシーに関する方針を読みました

© 2024. Barco. All rights reserved.



画像 4-24 コンフィギュレーターログインページの例

- a) 右上の表示言語を選択します。
- b) ユーザー名とパスワードを入力します。

注: デフォルトのユーザー名とパスワードはどちらも「管理者」です。

- c) 入力したユーザー名とパスワードを記憶させるには、「記憶する」の前のチェックボックスにチェックを入れます。(オプション)
- d) リンクされた EULA とプライバシーポリシーを**読み**、前面のチェックボックスをクリックして**条件に同意**します。

ClickShare コンフィグレーションウィザードが表示されます。

- 4. 「コンフィグレーションの開始」をクリックします。



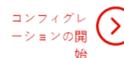
ClickShareデバイスが最初に起動されました

2023年10月27日

お使いのデバイスを登録して、デフォルトの1年間の保証期間を5年間に延長し、SmartCareの追加特典をご利用ください!

ClickShareコンフィグレーションウィザードへようこそ

本ウィザードはClickShare Base Unitをコンフィグレーションする際の手順を案内します。
 「コンフィグレーションの開始」をクリックして開始します。
 このデバイスのセットアップを完了するには、ウィザードを完了する必要があります。



画像 4-25 コンフィギュレーターウィザードのランディングページの例

「ファームウェアのアップデート」ページが表示されます。

5. ファームウェアの配信方法を決定し、「次へ」をクリックします:
 - ▶ **自動**、Base Unit を最新の状態に保ちます。(推奨)
 - ▶ **通知**、アップデートが利用可能になると、コンフィギュレーター ホームページに通知が表示されます。
 - ▶ **オフ**、決してアップデートをチェックしません。



🔴 ファームウェアのアップデート

ファームウェアのステータス: 更新サーバーにアクセスできません。

ファームウェアの自動更新:

お客様に代わって自動的にシステムを最新の状態に保ちます。ユニットが8、更新ファイルがインストールされます。

このウィザードを終了すると、システムはすぐに最新のファームウェアに更新されます。

ファームウェアの手動アップデート: 最新のファームウェアはwww.barco.com/clicksharesetup

ファームウェアのダウングレードを許可

次へ



画像 4-26 ファームウェアのアップデートページの例

手動でファームウェアをアップデートするには、「ファームウェアをアップロード」をクリックします。

注: ClickShare は、古いバージョンのファームウェアがインストールされないようにすることで、自身を保護します。ダウングレードがどうしても必要な場合は、「ファームウェアのダウングレードを許可」の前のチェックボックスにチェックを入れてください。

6. 名前、場所、画面上のテキストとその言語をカスタマイズし、「次へ」をクリックします。



カスタマイズ

スクリーンに表示される言語:

会議室名:

場所の名前:

ウェルカムメッセージ:

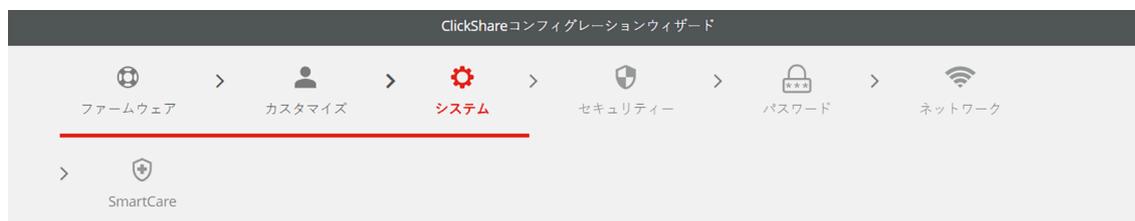


画像 4-27 カスタマイズの例



ヒント: 「会議室名」と「場所の名前」を、会議室自体の名前と場所に変更することをお勧めします。

7. Base Unit の使用に最も適したタイムゾーンを選択します。



システム

現在の時刻: 2024年1月25日午前10時47分 木 CET (+01:00)

タイムゾーン:

日付と時刻の設定モード: 日付と時刻を手動で設定
 NTPを使用

日付:

時刻:

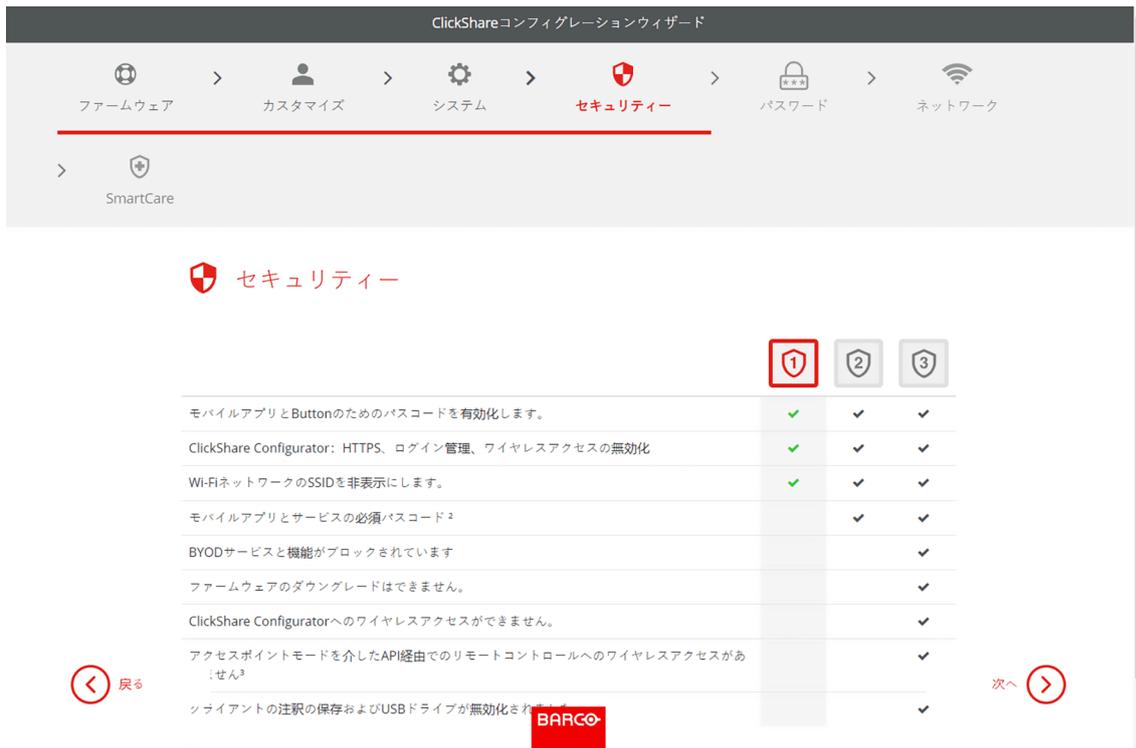


画像 4-28 システムページの例

8. 日付と時刻のモードを選択し、「次へ」をクリックします:

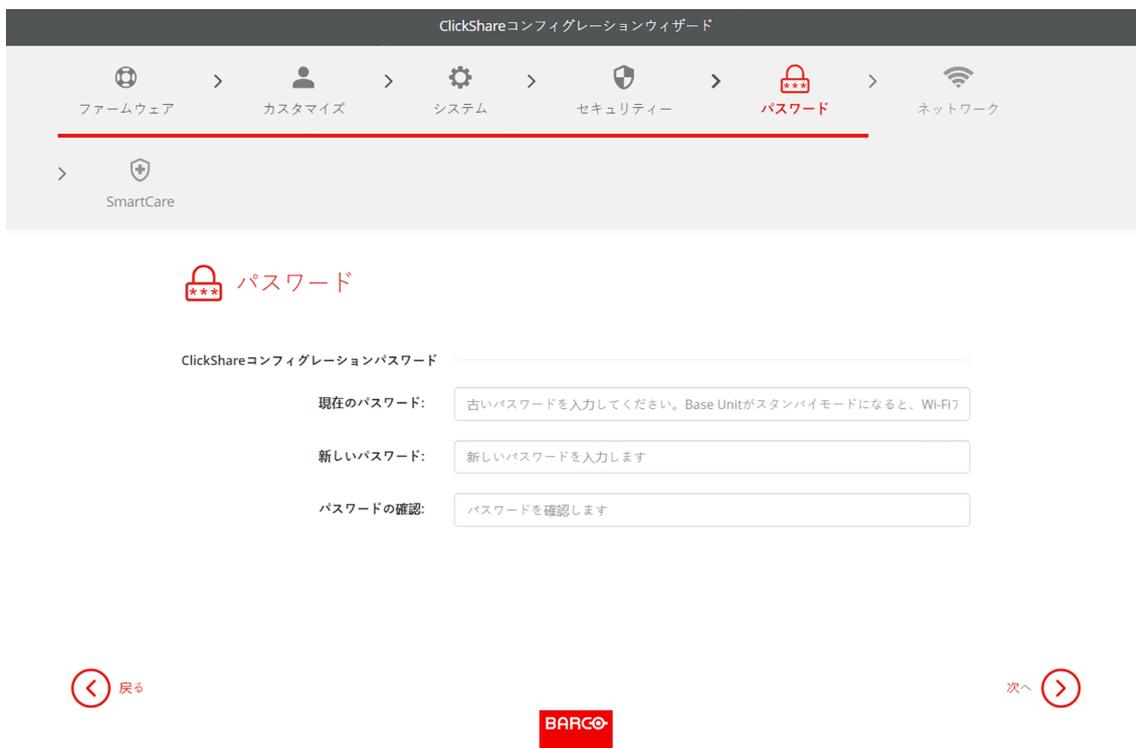
- ▶ **手動**、Base Unit の開始日と開始時間を変更できます。
- ▶ **NTP**、入力フィールドで定義されたタイムサーバーのクロックに従います。

9. 最も適切なセキュリティレベルを選択し、「次へ」をクリックします。



画像 4-29 セキュリティページの例

10. パスワードをより安全なものに変更し、「次へ」をクリックします。

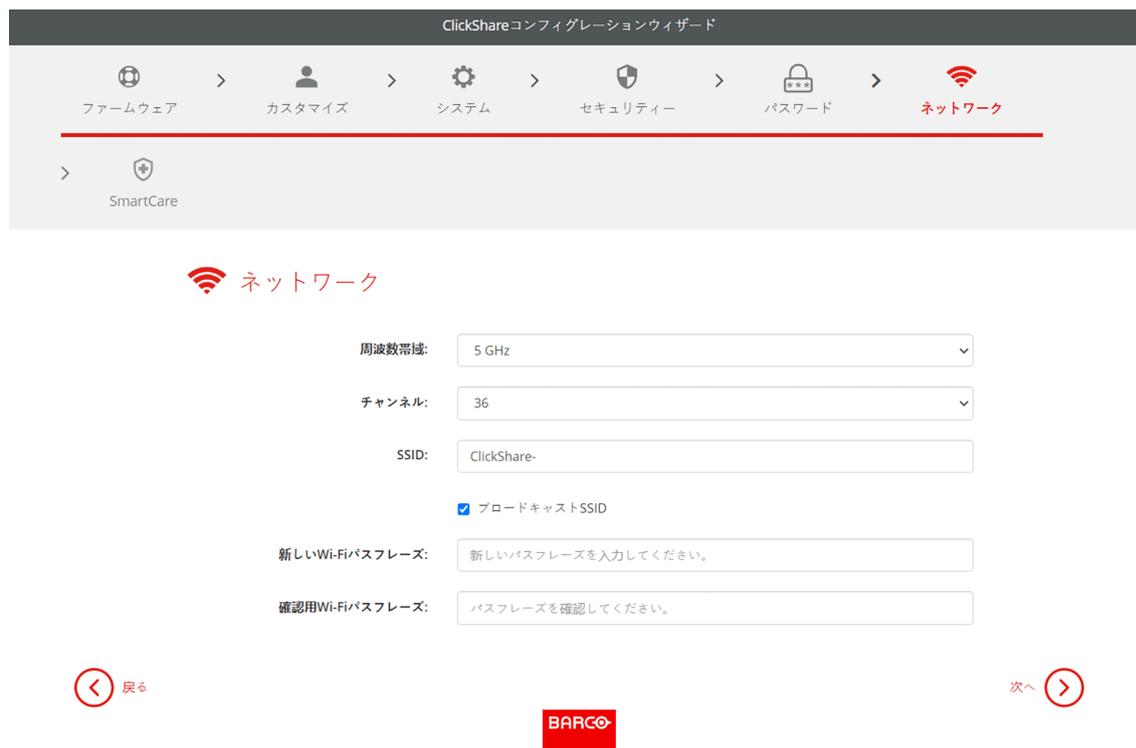


画像 4-30 パスワードページの例



ヒント: パスワードの作成に必要な基準はありません。一般的に、パスワードは長ければ長いほど安全です。

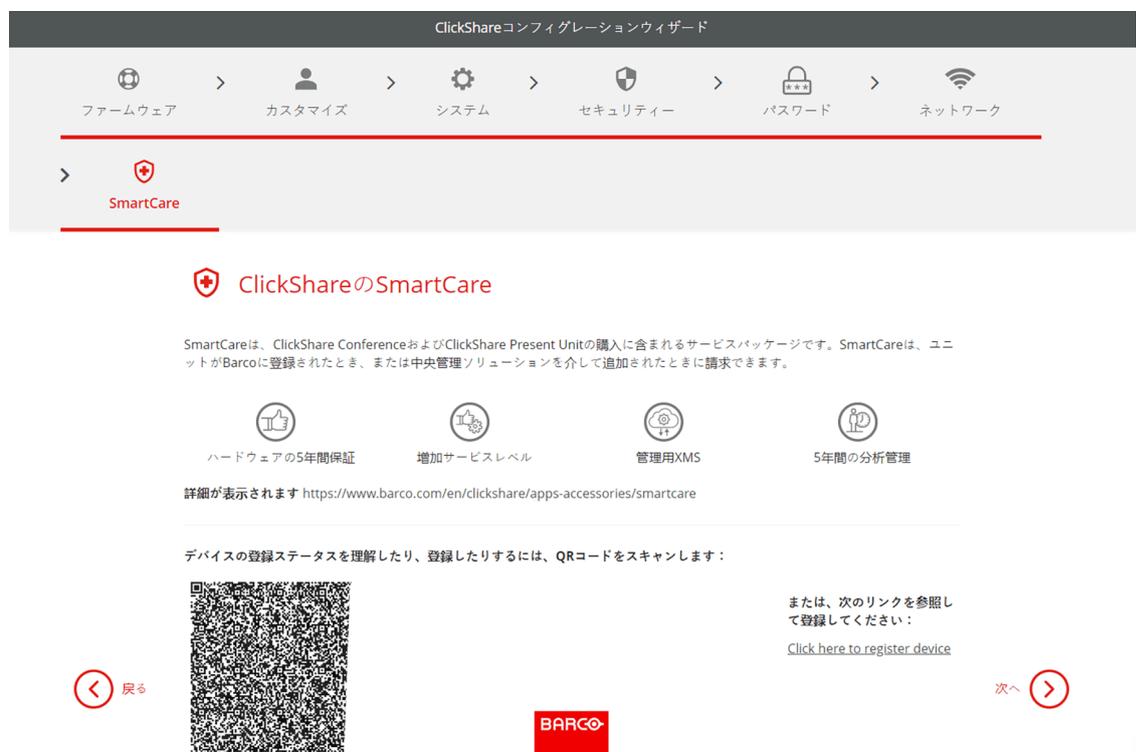
11. 他のワイヤレス信号の干渉を最小化し、Base Unit の WiFi ネットワークのセキュリティを最大化するようにネットワーク設定を行い、「次へ」をクリックします。



画像 4-31 ネットワークページの例

ヒント: 接続の不安定さを最小限に抑えるため、複数の Base Unit または他のワイヤレスデバイスでチャンネル設定をずらすことを強くお勧めします!

12. XMS Cloud に Base Unit を登録し、SmartCare の登録を完了します。



画像 4-32 SmartCare ページの例

SmartCare で 5 年保証を有効にするには、XMS Cloud への登録が必要です。XMS Cloud に登録するには、2 つの方法があります:

- **PC 登録:** QR コード下のリンクをクリックすると登録が開始されます。詳しくは、[41 ページ](#)、[PC オンボーディング](#) を参照してください。

- **モバイル登録:** スクリーンまたはボックスに含まれているカードの QR コードをスキャンしてください。詳しくは、[43 ページ](#)、[モバイル オンボーディング](#) を参照してください。
13. 選択したセットアップの概要は最後のページに示されています。「**コンフィグレーションの終了**」をクリックして初期設定を完了します。



画像 4-33 概要ページの例

-  **注:** 設定が間違っていたり、何かを変更したりする必要がある場合は、希望のチャプターに到達するまで「**戻る**」ボタンをクリックします。いつでもすべての設定を行き来することが可能です。

変更内容によっては警告が表示される場合があります。ポップアップで「**コンフィグレーションの終了**」をクリックして続行するか、「**戻る**」をクリックして再度設定を変更します。

コンフィギュレーター ホームページが表示され、システムが正常に設定されたことが確認されました!

4.5.3 XMS Cloud 登録

登録について

Base Unit を登録することで、よりコントロールしやすくなり、より多くの機能を利用できるようになり、**5 年 SmartCare パッケージ**が可能になります。

SmartCare パッケージには以下が含まれます:

- ハードウェアの 5 年間保証
- 増加サービスレベル
- 管理用 XMS
- 5 年間の分析管理

詳細は、<https://www.barco.com/en/clickshare/apps-accessories/smartcare> を参照してください。

4.5.3.1 PC オンボーディング

PC での登録方法

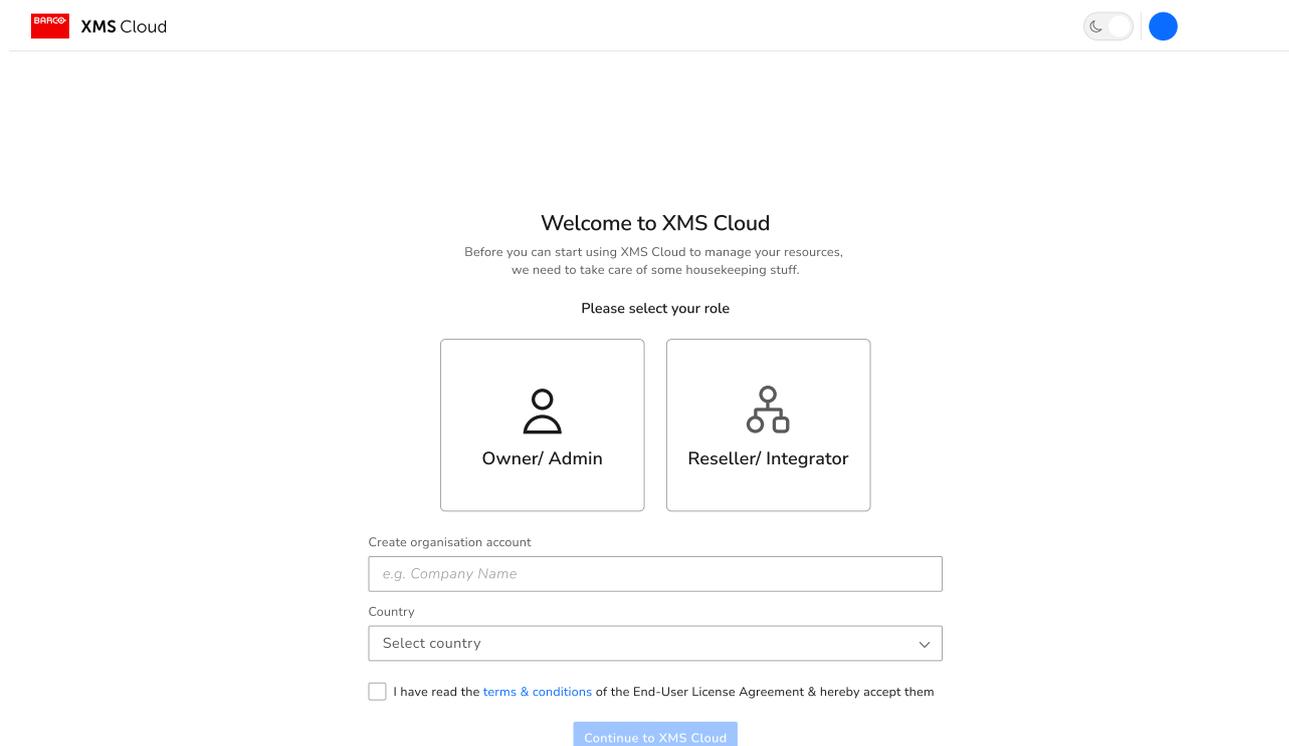
1. コンフィギュレーター の SmartCare ページにある QR コード下のリンクをクリックします。
2. XMS Cloud のアカウントをお持ちですか?

- ▶ 「はい」の場合、ログインしてステップ 4 に進みます。
- ▶ 「いいえ」の場合、次のステップでアカウントを登録します。

3. ユニットの顧客用に設置されていますか？

- ▶ 「はい」の場合、「リセラー/インテグレーター」を選択し、XMS で組織と呼ばれる顧客を作成するか、以下のフィールドから選択します。
- ▶ 「いいえ」の場合、「オーナー/管理者」を選択し、ユニットが設置されている組織の名前を作成するか、選択します。

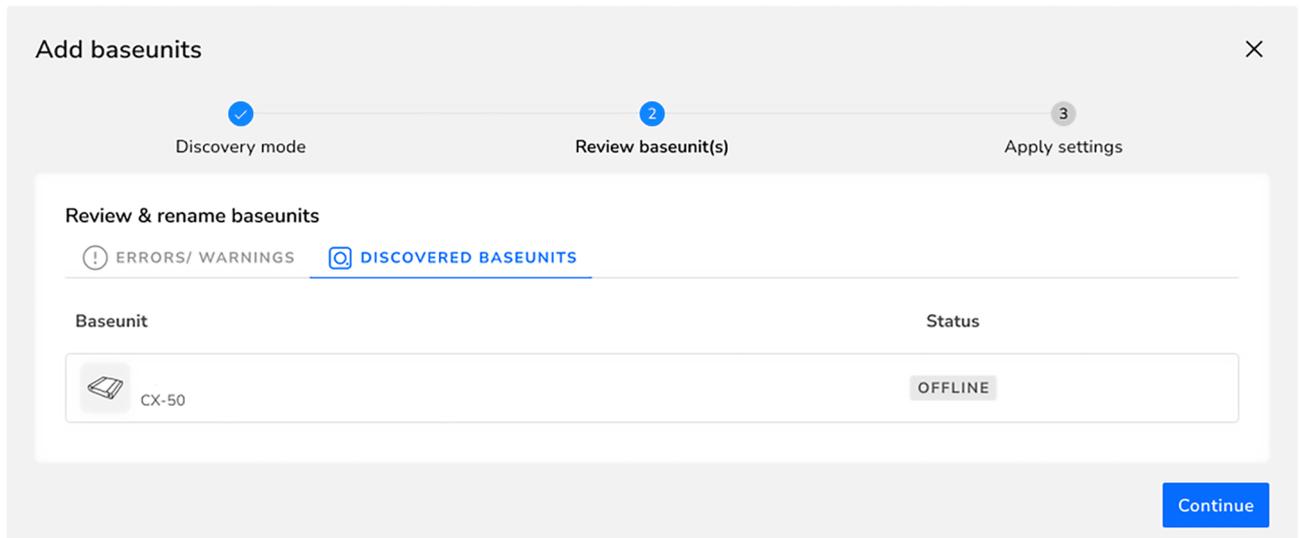
 注: 選択した役割は変更できません!



画像 4-34 PC での登録ログインページの例。

利用可能な Base Unit は自動的にスキャンされ、登録の準備が行われます。

4. 情報を確認して、正しい Base Unit が正しい組織に追加されるようにします。情報が正しいければ、「続ける」をクリックします。



画像 4-35 リンクされた Base Unit の例

 ヒント: Base Unit は、一度に 1 つの組織にのみ登録できます! Base Unit を別の組織に変更しなければならない場合は、まず Base Unit のリンクを解除する必要があります!

Base Unit をネットワークに接続し、オンボーディングを完了します。

5. 追加された Base Unit の管理方法または XMS Cloud の使用方法の詳細については、XMS Cloud ユーザーガイドを参照してください。

4.5.3.2 モバイル オンボーディング

モバイルでの登録方法

1. 可能な場所のうちの 1 つの XMS Cloud QR コードをスキャンします。
 - ▶ Base Unit 自体。
 - ▶ 接続されたディスプレイの ClickShare のランディングページ。
 - ▶ コンフィギュレーター の SmartCare。
2. XMS Cloud のアカウントをお持ちですか?
 - ▶ 「はい」の場合、ログインしてステップ 4 に進みます。
 - ▶ 「いいえ」の場合、次のステップでアカウントを登録します。
3. デバイスは顧客用に設置されていますか?
 - ▶ 「はい」の場合、「リセラー / インテグレーター」をクリックします。
 - ▶ 「いいえ」の場合、「オーナー / 管理者」をクリックします。

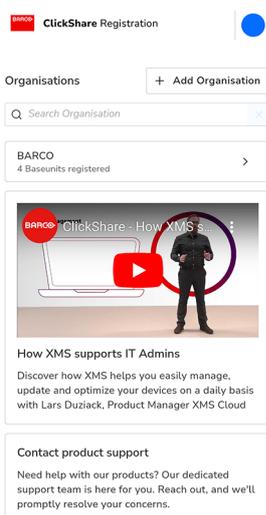
 注: 選択した役割は変更できません!



画像 4-36 QR コードをスキャンした後のランディング ページの例。

登録ページが表示されます。

4. 矢印「>」をクリックするか、リストから希望の組織を検索して矢印「>」をクリックします。



画像 4-37 登録ページの例。

希望の組織がリストにない場合は、以下の手順に従って、XMS Cloud 内に新しい組織を作成します。

- a) 「+ 組織の追加」をクリックして、新しい組織を作成します。
- b) 名前を入力し、該当する国を選択します。

画像 4-38 組織を作成する例。

- c) 「プライバシーに関する方針」を読み、チェックボックスにチェックを入れます。
- d) 「保存して追加」をクリックして、Base Unit を新しく作成した組織にリンクするか、「保存してリストに戻る」をクリックして、別の組織を作成するか既存の組織を選択します。

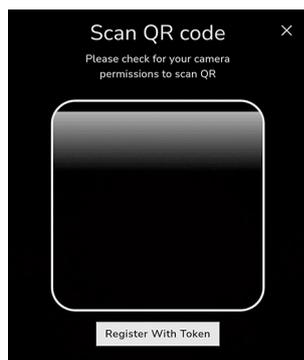
選ばれた組織の概要が表示されます。現在登録されている Base Unit を表示するか、まだ登録の最終確認を待っている Base Unit の簡単な概要を取得します。

- 5. 「追加」をクリックして、デバイスの登録を開始します。

画像 4-39 組織概要の例。

- 6. Base Unit の QR コードを再度スキャンして、XMS Cloud に登録します。ファームウェアが 2.18 より低い Base Unit の場合、スキャンの代わりに以下の手順を実行する必要があります。

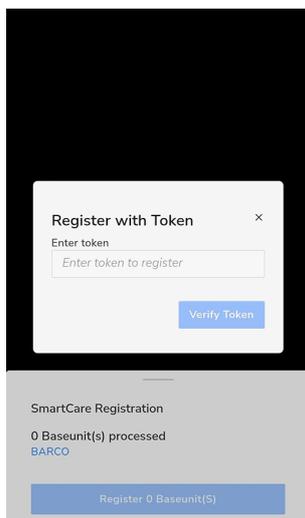
 ヒント: コードをスキャンするには、ブラウザがカメラにアクセスできなければなりません!



画像 4-40 QR コードスキャンページの例。

QR コード全体が白い丸い四角形に収まるようにカメラを向けます。成功すると、Base Unit が処理され、登録されます。

- a) 「トークンで登録」ボタンをクリックして、手動で Base Unit を追加します。



画像 4-41 トークンによる手動登録の例。

- b) Base Unit のシリアル番号を入力します。
c) 「トークンの検証」をクリックして、Base Unit を処理して登録します。



ヒント: カメラとトークンの登録が見つからない場合は、「+ さらに追加」をクリックして、これらを再度開きます。



画像 4-42 追加場所の例

必要な Base Unit をすべて追加するまで、この (サブ) ステップを繰り返します。

7. 追加された Base Unit のリストを確認し、「登録」をクリックします。



ヒント: Base Unit は、一度に 1 つの組織にのみ登録できます! Base Unit を別の組織に変更しなければならない場合は、まず Base Unit のリンクを解除する必要があります!

オンボーディングを完了するには、Base Unit をネットワークに接続する必要がある旨のポップアップが表示されます。

8. 追加された Base Unit の管理方法または XMS Cloud の使用方法の詳細については、XMS Cloud ユーザーガイドを参照してください。

ClickShare のコン フィギュレーター

5

5.1	ログインページ	50
5.2	コンフィギュレーター UI (ユーザーインターフェイス)	51
5.3	ダッシュボード	56
5.4	個人用設定	57
5.5	会議バー	61
5.6	ディスプレイ	65
5.7	WiFi とネットワーク	68
5.8	セキュリティ	76
5.9	システム	79
5.10	サポートと更新	84

ClickShare のコンフィギュレーターについて

コンフィギュレーターは、ウェブアプリケーションで、ClickShare の設定、機能、オプション、大量の情報、有用な洞察にアクセスできます。この章では、コンフィギュレーターのすべての機能について、コンフィギュレーター自体で使用されているメニュー構成に沿って説明します。

説明されている機能にアクセスまたは管理するには、コンフィギュレーター内の章名に移動します。

5.1 ログインページ

ログインについて

コンフィギュレーターにアクセスする前に、ユーザー名とパスワードでのログインを要求するログイン画面が表示されます。

画像 5-1 ClickShare コンフィギュレーターのログインページの例

ログイン方法

1. 任意のブラウザから設定ページに移動します。

 注: コンフィギュレーターのデフォルト IP アドレスは [[192.168.2.1](#)] です。

 注: ブラウザの設定によっては、セキュリティ警告が表示されることがあります。後でこの警告が出ないようにするには、[78 ページ](#)、[HTTP 暗号化](#) を参照してください。

2. 右上の言語セレクターから希望の表示言語を選択します。(オプション)

3. ユーザー名とパスワードを入力します。

 注: デフォルトのユーザー名とパスワードはどちらも「管理者」です。

4. 入力したユーザー名とパスワードを記憶させるには、「記憶する」の前のチェックボックスをオンにします。(オプション)

5. リンク先のEULAとプライバシーポリシーを[読み](#)、チェックボックスをクリックして規約に同意します。

6. 「ログイン」ボタンをクリックして、サインインします。

ログインに成功すると、コンフィギュレーターのホームページが表示されます。

5.2 コンフィギュレーター UI (ユーザーインターフェイス)

5.2.1 コンフィギュレーターの UI (ユーザーインターフェイス) について

概要

コンフィギュレーターの UI (ユーザーインターフェイス) は、3つの主要セクションで構成されています：

- **ヘッダー** (濃いグレーの背景)
- **サイドバー** (薄いグレーの背景) :
機能をナビゲートするために使用します。
- **メインウィンドウ** (白の背景) :
現在選択されているカテゴリに関する情報を表示し、機能の編集が可能です。



画像 5-2 コンフィギュレーターのホームページの例

5.2.2 ヘッダー

概要

ヘッダーは、3つの基本機能で構成され、ClickShare コンフィギュレーターを操作しながらいつでもアクセスできます：

- ダッシュボード
- 言語セレクトター
- ログアウト



画像 5-3 コンフィギュレーターのヘッダー例

ダッシュボードについて

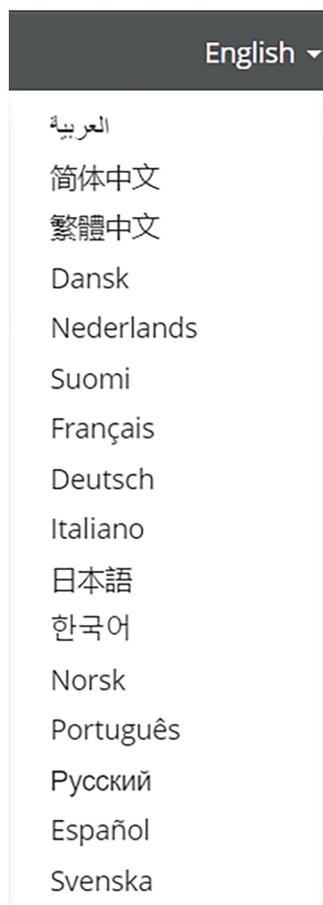
ダッシュボードは、コンフィギュレーターのホームページまたはランディングページとして見ることができ、最初に表示されるページです。

ヘッダー中央のテキスト「ClickShare Configurator」をクリックすると、ダッシュボードページが表示されます。詳しくは、56 ページ、[ダッシュボード](#) を参照してください。

言語セレクトターについて

言語セレクトターにより、コンフィギュレーターを複数の言語で表示できます。選択した言語は、ウェブアプリケーション全体に適用され、いつでも変更できます。

言語を変更するには、現在の表示言語の名前をクリックするか、テキストの右側にある下向きの矢印をクリックします。



画像 5-4 言語セレクターと使用可能な言語の例

ログアウトについて



画像 5-5 ログアウトアイコン

ログアウトは、言語セレクターの下向き矢印の右側にあるアイコンをクリックすることで行えます。ログアウトすると、コンフィギュレーターは、ログインページにリダイレクトされ、サインインが要求されます。

5.2.3 サイドバー

概要

サイドバーまたはナビゲーションバーには、コンフィギュレーターのメニュー構成が表示されます。表示や変更が可能なすべての設定やオプションは、独自のカテゴリとサブカテゴリに細分化されています。これらの（サブ）カテゴリをナビゲートすることで、メインウィンドウの表示が影響を受けます。現在開いているカテゴリだけが、そのサブカテゴリを表示します。



（サブ）カテゴリをナビゲートすると、保存していない変更が失われることがあります。他の（サブ）カテゴリに切り替える前に、変更が適用されていることを必ず確認してください！



画像 5-6 サイドバーの例

構成ウィザード

サイドバーの下部には、コンフィギュレーションウィザードへのリンクが常時表示されます。[35 ページ](#)、[ClickShare コンフィグレーションウィザード](#) で説明されているようなコンフィギュレーターの初期セットアップフローが有益な場合は、このリンクを使用してください。

5.2.4 メイン ウィンドウ

メインウィンドウについて

すべての設定、情報、オプションがここに表示されます。表示される内容は、選択されているサブカテゴリと、現在設定されているオプション/設定の両方で大きく異なります。メインウィンドウでは、さまざまな要素を使用して設定を制御および変更します。それぞれ異なる機能と意図があります：

- 入力フィールド
- プッシュボタン
- チェックボックス
- ラジオボタン
- ドロップダウンリスト
- 赤い点のスライダー

入力フィールド

何かを入力しなければならない場合、入力フィールドが表示されます。入力フィールドが空の場合、入力が期待される、あるいは必要とされるものを参照する基本的なテキストが表示されます。

入力欄の中をクリックして、必要な情報を入力します。

Enter a new password

画像 5-7 任意の参照テキストを持つ入力フィールドの例



画像 5-8 選択されている入力フィールドの例

プッシュボタン

プッシュボタンは、テキストやアイコンを囲むボックスです。ボックス内のテキストは、プッシュボタンが何を意図しているかを示しています。

ボタンにカーソルを合わせると色が変わり、クリックすると、テキストに書かれた、またはアイコンで表された機能が実行されます。

Save changes

画像 5-9 プッシュボタンの例

Save changes

画像 5-10 マウスカーソルを合わせた状態でのプッシュボタンの例

チェックボックス

チェックボックスは、チェックボックス自体の後に記述されるリストであり、機能や項目を含めたり除外したりできます。チェックボックスに青いチェックマークがついている場合は、その機能が有効になっているか、項目が含まれています。空のチェックボックスは、その機能が無効になっているか、項目が含まれていないことを意味します。

チェックボックスをクリックすると、チェックマークが付いている状態と空白の状態が切り替わります。



画像 5-11 チェックの入ったチェックボックスの例では、項目の機能が含まれています。



画像 5-12 チェックボックスをオフにすると、その機能やアイテムは除外されます。

ラジオボタン

一度に 1 つしか選択できない場合は、ラジオボタンを使用します。ラジオボタンは、円の中に青い点があることで、現在どのオプションが使用されているかを示します。他の選択肢は空欄となります。

空のラジオボタンの円をクリックすると、青い円が現在選択されている選択肢からクリックされた選択肢に切り替わります。



画像 5-13 現在選択されているラジオボタンの例



画像 5-14 非アクティブなラジオボタンの例

ドロップダウンリスト

ドロップダウンリストは、現在アクティブなオプションをボックスで囲んで表示しながら、可能なオプションを非表示リストに隠します。テキストの後に下向きの矢印「v」が表示され、非表示リストを表示できます。

非表示リストを表示させるには、ボックス内をクリックするか、下向き矢印をクリックします。リストから希望のオプション名をクリックして選択します。現在マウスの下にあるオプションは青色で強調表示されます。



画像 5-15 非表示メニューが表示されているドロップダウンリストの例



画像 5-16 非表示メニューが非表示にされたドロップダウンリストの例

赤い点のスライダー

赤い点のあるスライダーは、2つの主要な要素で構成されています：赤い点がスライドするバーまたはラインと赤い点そのものです。赤い点は、現在選択されているオプションを示し、線は、原点から点まで塗りつぶされます。

特定の値を選択できるようにするために、赤い点をバーまたはライン上でドラッグできます。上に数字やテキストがある場合、ドットは、最も近い値にスナップします。



画像 5-17 赤い点を線上にドラッグし、あらかじめ設定された停止ポイントを通過させた例

5.3 ダッシュボード

ダッシュボードについて

ダッシュボードは、コンフィギュレーターのホームであり、ランディングページです。このページでは、複数のカテゴリにわたる大まかな概要を説明し、関心のあるトピックをクリックすることで、ハイライトされた設定に素早く移動できるようになっています。

ハイライトされる基本情報:

- 便利な機能へのリンク。
- 基本的なネットワーク情報。
- 便利なステータス情報。
- 現在のシェアステータス

各種設定

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 👤 壁紙の変更 ⚙️ Buttonのステータスを表示する。 📄 ログファイルのダウンロード | <ul style="list-style-type: none"> ⚙️ Base Unitのステータスを表示する。 ⚙️ 省エネ設定を変更する。 🔧 コンフィグレーションウィザードを起動する。 |
|---|---|

 5 GHz: ClickShare-	 ClickShare- No se detectó ningún Link
 SmartCareがアクティブではありません。 SmartCareをアクティブにするには、ここをクリックします。	 Pantalla en espera 0 Buttons conectados
 No se puede establecer contacto con el servidor.	

画像 5-18 ダッシュボード表示の例

5.4 個人用設定

カスタマイズについて

カスタマイズにより、会議室内の ClickShare の外観と雰囲気を変更できます。



画像 5-19 カスタマイズカテゴリーの例

5.4.1 画面に表示される ID

概要

画面に表示される ID は、ClickShare が共有されていないときに、壁紙の上に接続されているスクリーンの基本情報を表示するウィンドウです。



画像 5-20 接続されたディスプレイに表示されるオンスクリーン ID の例

オンスクリーン ID の編集方法

以下の情報を編集して、オンスクリーン ID に表示される情報を管理します：

- ・ 「スクリーンに表示される言語」の後にあるドロップダウンリストから表示言語を選択します。
- ・ 「会議室名」の後の入力欄に会議室名を表示します。
- ・ 「場所の名前」の後の入力フィールドに会議室の場所を表示します。
- ・ 「ウェルカムメッセージ」の後に表示されるウェルカムメッセージを入力フィールドに入力します。

- 「ネットワーク情報の表示」の前にあるチェックボックスでネットワーク情報を切り替えます。
- 「シアターモードを有効化」の前のチェックボックスで、共有中に画面下のステータスバーを表示するか非表示にするかを切り替えます。



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

 画面に表示される ID

変更を破棄

変更を保存

スクリーンに表示される言語:

会議室名:

場所の名前:

ウェルカムメッセージ:

ネットワーク情報の表示

シアターモードを有効化
コンテンツが共有されているときにステータスバーを自動的に非表示にします。

画像 5-21 コンフィギュレーターの画面上の ID ページの例

5.4.2 壁紙

壁紙について

壁紙は、ClickShare を使用していない間、接続された画面に選択した背景画像を表示します。デフォルトの Barco の壁紙は、ディスプレイの解像度に合わせて自動的にサイズ調整されます。ユーザーがアップロードした壁紙は、コンフィギュレーターによってフォーマットとサイズが確認されます。



画像 5-22 デフォルト壁紙の表示例

壁紙の変更方法

「誰も画面を共有していないときに壁紙を表示」の前のチェックボックスで壁紙機能を切り替えます。



壁紙を非表示にすると、画面上の ID 情報も非表示になります！

Barco により、そのタイルをクリックしてデフォルトの背景のいずれかを選択するか、「画像の選択」のタイルをクリックしてカスタム画像をアップロードします。



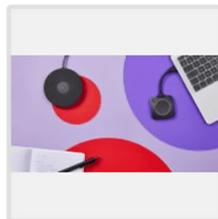
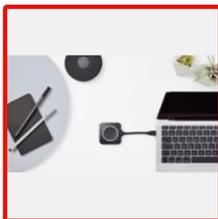
追加できるカスタム壁紙は 5 枚です。

壁紙

変更を破棄

変更を保存

誰も画面を共有していない場合は壁紙を表示する



画像 5-23 コンフィギュレーターの壁紙ページの例



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

壁紙の削除またはダウンロード



画像 5-24 壁紙にカーソルを合わせてアイコンをダウンロードします



画像 5-25 カスタム壁紙の上にカーソルを置くとゴミ箱アイコンが表示されます

壁紙の上にカーソルを置くと、その壁紙をダウンロードしたり削除したりするための非表示アイコンが表示されます。削除できるのはカスタム壁紙のみです！

5.4.3 構成ファイル

構成ファイルについて

構成ファイルは、Base Unit の設定と履歴を保存できます。これらのファイルにより、同じ Base Unit の設定を素早く復元したり、他の同様の Base Unit に設定を転送したりできます。

コンフィグレーションファイル

コンフィグレーションのダウンロード:

フルバックアップ

フルバックアップには、Base Unit のすべての設定と履歴が含まれます。他の Base Unit にコンフィグレーションを複製することは推奨しません。

ポータブルバージョン

ポータブルバージョンは、複数の Base Unit にコンフィグレーションを複製するために使用できるコンフィグレーションのコピーです。

コンフィグレーションのアップロード:

コンフィグレーションをアップロード...

画像 5-26 コンフィギュレーターの設定ファイルページの例

バックアップ / 設定ファイルの作成

1. 選択したタイプの名前のプッシュボタンをクリックして、適用するバックアップのタイプを決定します:
 - ▶ **フルバックアップ**、バックアップが作成されたのと同じ Base Unit の設定を復元します。
 - ▶ **ポータブルバージョン**、設定を Base Unit に転送します。
2. 作成したバックアップファイルを任意の場所に保存します。

バックアップ / 構成ファイルの復元

1. プッシュボタン「コンフィグレーションをアップロード...」をクリックします。
2. 目的のバックアップファイルの場所に移動します。
進捗が 100% に達すると警告が表示されます。
3. 正しいファイルが選択されているかダブルチェックしてください。
 - ▶ 正しいファイルが選択されたら、「はい、続行します」をクリックして処理を終了します。
 - ▶ 別のファイルを選択したり、バックアッププロセスを中止したりするには、「変更しません」を押します。

5.5 会議バー

会議バーについて

内蔵カメラ機能の設定とビデオフィルターのオプションを管理します。



画像 5-27 会議バーのカテゴリ例

5.5.1 カメラ

カメラについて

カメラで何を撮影し、画像をどのように最適化して編集するかは、4つのやり方で管理できます：

- 固定位置
- グループフレーミング
- 発言者のフレーミング (CB Proの場合のみ)
- 合成フレーミング

「デフォルトの視野角」の後にあるドロップダウンメニューから希望のオプションを選択します。選択したモードに応じて、さらにオプションが表示されます。

カメラ

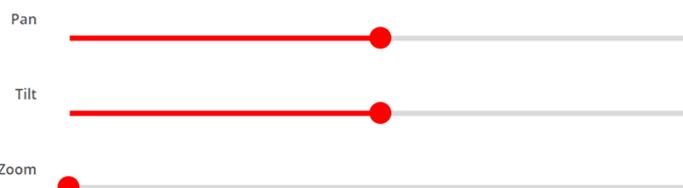
変更を破棄

変更を保存

General

Default View Angle: Fixed Position

Fixed Position



Reset to Default

画像 5-28 カメラの設定例



セキュリティ上の理由から、Base Unit の使用中にこれらの設定を変更することはできません!

固定位置

固定位置では、物理的なパンやチルトをシミュレートするために、超ワイド画像のトリミングが可能です。この2つをカメラのデジタルズームと組み合わせることで、どのエリアを撮影して会議に表示するかを、より正確に選択できます。

固定位置の調整方法

「パン」および「傾斜範囲」スライダーの中心位置は、パンとチルトに影響がないことを意味します。ドットを左右にドラッグすると、それぞれ画像が左右にゆがみます。

ドットを右にスライドさせるとズームが上がり、左にスライドさせるとズームが下がります。



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

グループフレーミング

グループフレーミングにより、ClickShare は、撮影した画像をデジタルズームしたりパンしたりして、参加者に動的に焦点を合わせることができます。ClickShare は、出席者が座っている場所を検出し、出席者を囲むすべてのものを画像から切り出します。こうすることで、会議参加者の周囲に表示される余白を最小限に抑え、参加者を中心に据えた、より焦点の絞られた映像を撮ることができます。

この機能で管理する追加設定はありません。

発言者のフレーミング



CB Pro に対してのみ利用可能です!

発言者が注目されるようにするため、発言者フレーミングは、撮影した画像をデジタルズームおよびパンして、現在話している出席者に焦点を合わせます。ClickShare は、他の出席者が発言者に代わると、自動的にそれを検出し、フォーカスを切り替えます。会議カメラの映像が常に話している人を映しているようにします。

この機能で管理する追加設定はありません。

合成フレーミング

グループフレーミングの上級バージョン。合成フレーミングは、出席者一人一人を検出し、それぞれの背景をできるだけ切り取って、それぞれの切り取った部分を合成画像に組み立てます。この合成画像は、背景を可能な限り取り除き、2人の出席者が物理的に隣り合って座っているように見せることができます。合成画像の下には、遠近感を出すために編集前の全景が表示されます。

この機能で管理する追加設定はありません。

5.5.2 ビデオ

ビデオについて

キャプチャした画像にビデオフィルターを追加できます。これらのフィルターは、会議室ごとに異なる条件を補正したり、ビデオをより均一に見せたりすることができます。



画像 5-29 ビデオ設定の例

画像の見た目を調整する方法

管理できるフィルターはいくつかあります：

- 輝度
- コントラスト
- 彩度
- ガンマ
- ホワイトバランス (オプション**自動**)
- 露出 (オプション**自動**)

希望のフィルターを調整するには、ドットをフィルター名の右にスライドさせるとその効果が強くなり、ドットを左にスライドさせるとその効果が弱くなります。



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

自動調整

「自動」により、Base Unit が入力画像を分析し、有効なフィルターの強度を変更してビデオ品質を最大化します。

ホワイトバランスと露出のみ、それぞれのスライダーの下にあるチェックボックスをオンにすることで、自動調整に切り替えることができます。



自動調整では、手動で行った変更を上書きします！



「変更を保存」 ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

リセット

フィルターは、右下のプッシュボタン「デフォルトにリセット」をクリックすることで、デフォルト値にリセットできます。

Defaultへのリセット

画像 5-30 リセットプッシュボタンの例



「変更を保存」 ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

5.6 ディスプレイ

ディスプレイについて

接続されたディスプレイと周辺機器を管理して表示します。



画像 5-31 表示カテゴリの例

5.6.1 ディスプレイ

ディスプレイについて

接続されているディスプレイの概要と基本設定を行います。

ディスプレイ

変更を破棄 変更を保存

出力

ディスプレイ出力: HDMI

モデルとベンダー: DELL P2414H, DEL

解像度: 自動

 CECの有効化 音声を有効化

タッチスクリーンデバイス

タッチスクリーン: 接続されていません

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを表示するまでの時間 (分): 無限 1 5 10 15 30 45 60

画像 5-32 コンフィギュレーターの表示例

解像度

デフォルトでは、解像度は「自動」に設定されています。つまり、ClickShare は、ディスプレイの設定に従います。ただし、ClickShare は、必要に応じてより小さな解像度を強制的に表示させることができます。

「解像度」の後のドロップダウンリストから表示したい解像度を選択します。



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

CEC (コンシューマーエレクトロニクスコントロール)

この HDMI 機能は、HDMI 経由で他の機器を 1 台のリモコンで操作できるように設計されています。

「CEC」の前のチェックボックスを切り替えて、この機能を有効または無効にします。



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

ディスプレイと音声

会議中に音声を表示しない場合は、「オーディオを有効化」の前のチェックボックスをオフにします。すべてのオーディオ再生は、ClickShare で無効になります。



「変更を保存」ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

スクリーンセーバー

アイドル状態の接続ディスプレイの損傷を防ぐため、スクリーンセーバータイマーを設定できます。ClickShare が設定された時間アイドル状態になると、自動的にスクリーンセーバーが接続されたスクリーンに表示されます。ClickShare によって接続が検出されると、スクリーンセーバーは解除されます。

「スクリーンセーバーを表示するまでの時間 (分)」の後にある赤い点を希望の分数近くまでドラッグして、希望の時間間隔を選択します。手を放すと、赤い点が最も近い数字にスナップします。



「変更を保存」 ボタンをクリックして、Base Unit の変更を行います。

5.7 WiFi とネットワーク

WiFi とネットワークについて

Base Unit のすべてのネットワーク設定を表示および管理します。



画像 5-33 WiFi とネットワークカテゴリの例

5.7.1 WiFi設定

WiFi 設定について

WiFi 設定を開くと、現在の設定の概要が表示されます。これらの設定は、右上の「設定の編集」プッシュボタンをクリックして変更できます。

WiFi設定

編集の設定

動作モード: アクセスポイント

アクセスポイントの設定

ブロードキャストSSID: 対応

ClickShare ConfiguratorはWiFi経由で利用可能です: 対応

周波数帯域: 5 GHz

チャンネル: 36

SSID: ClickShare-

MACアドレス: F4:6A:DD:5F:CD:E9

信号の強さ (%): 100

IPアドレス: 192.168.2.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

画像 5-34 WiFi 設定の概要例

WiFi は主に複数の方法で設定できます:

- アクセスポイントモード (デフォルト)

Base Unit がワイヤレスアクセスポイントとして動作し、独自のワイヤレスネットワークを発信するように設定します。このワイヤレスネットワークは、正しい「SSID」と「パスワード」を持つワイヤレスデバイスからアクセスできます。

- ワイヤレスクライアントモード

Base Unit をクライアントとしてワイヤレスネットワークに接続するように設定します。

- オフ

「動作モード」の後にあるドロップダウンボックスから希望のモードを選択します。選択した操作モードに応じて、異なる設定が表示されます。

WiFi設定

キャンセル

変更を保存

動作モード: アクセスポイント

ワイヤレス会議の場合、ButtonとBase Unitを直接接続することをお勧めします。

アクセスポイントの設定

新しいWi-Fiパスワード: 新しいパスワードを入力してください。

確認用Wi-Fiパスワード: パスワードを確認してください。

 ブロードキャストSSID ClickShare ConfiguratorはWiFi経由で利用可能です

周波数帯域: 5 GHz

チャンネル: 36

SSID: ClickShare-

MACアドレス: F4:6A:DD:5F:CD:E9

画像 5-35 WiFi 設定の編集ページの例

アクセスポイントモードの設定方法

- 「新しい WiFi パスフレーズ」の後の入力フィールドに WiFi ネットワークのパスフレーズ（パスワード）を選択して入力します。
 -  ヒント:パスワードの作成に必要な基準はありません。一般的に、パスワードは長ければ長いほど安全です。
- 「WiFi パスフレーズの確認」の後の入力フィールドに同じパスフレーズ（パスワード）を 2 回入力して、パスフレーズを確認します。
- ネットワークは、ワイヤレス機器から発見可能でなければなりませんか？
 - ▶ はい、「ブロードキャスト SSID」の前のチェックボックスにチェックを入れてください。
 - ▶ いいえ、「ブロードキャスト SSID」の前のチェックボックスからチェックを外します。
- コンフィギュレーターは、WiFi 接続でアクセスできなければなりませんか？
 - ▶ はい、「ClickShare WiFi 経由でコンフィギュレーターを利用可能」の前のチェックボックスにチェックを入れてください。
 - ▶ いいえ、「ClickShare WiFi 経由でコンフィギュレーターを利用可能」の前のチェックボックスのチェックを外します。
- 「周波数帯域」の後のドロップダウンリストから希望の周波数を選びます：
 - ▶ 5 GHz（デフォルト）、推奨
 - ▶ 2.4 GHz、非推奨
- 「チャンネル」の後にあるドロップダウンリストから番号を選択してチャンネルを変更します。
 -  注: 信号の干渉を最小限に抑えるため、同じエリア内のワイヤレス機器が使用するチャンネルをずらします。Base Unit の設置場所の近くにあるワイヤレスチャンネルアナライザーを使い、最も混雑していないチャンネルを探します。
- ワイヤレスネットワークの名前を SSID（「SSID」の後に入力フィールド）に入力します。
 -  注: SSID が非表示に設定されていても名前は必要です！
- オプションで、「信号の強さ (%)」の横にある赤い点をスライドさせると、赤い点に最も近い数字だけ信号の強さを弱めることができます。

信号の強さを下げると、信号が会議室の外に存在して他の信号と干渉するのを最小限に抑える素晴らしい方法です。
- オプションで、Base Unit の IP アドレスを変更します。
 -  注: IP アドレスを手動で設定する方法の詳細については、ネットワークの現地 IT 担当者にお問い合わせください。
- ページ上部の「変更を保存」をクリックして、Base Unit への変更を行います！

ワイヤレスクライアントモードの設定方法

- 「認証モード」の後にあるドロップダウンリストから、該当する認証モードを選択します：
 - ▶ **EAP-TLS**、クライアントとサーバーの両方が認証を必要とするログインサーバーを使用します。
 - ▶ **EAP-TTLS**、ログインサーバーを使用し、サーバーがパスワード認証によるユーザー認証でクライアントに証明書を発行します。
 - ▶ **PEAP**、セットアップに応じて、EAP-TLS と EAP-TTLS のいずれかの認証方法を使用できます。
 - ▶ **WPA2-PSK**、パスワードを使ってクライアントを認証します。

どの認証を選択したかによって、異なる入力フィールドやドロップダウンリストが表示されます。
- 必要なネットワーク詳細フィールドに入力し、Base Unit をホストネットワークのクライアントとして認証します。
 -  注: これらのフィールドの記入方法やドロップダウンリストの選択については、ネットワークの現地 IT 担当者にお問い合わせください。
- 「メソッド」の後にあるドロップダウンリストからオプションを選択して、Base Unit が IP アドレスを取得する方法を決定します：

- ▶ **自動 (DHCP)**、IP コンフィギュレーションは、ネットワークが行います。
- ▶ **手動**、「メソッド」ドロップダウンリストの下にある入力フィールドが有効になり、手動で IP アドレスを設定できるようになります。

 注: IP アドレスを手動で設定する方法の詳細については、ネットワークの現地 IT 担当者にお問い合わせください。

4. ページ上部の「変更を保存」をクリックして、Base Unit への変更を行います！

オフ

Base Unit の WiFi 機能をすべて無効にします。

5.7.2 LAN 設定

LAN 設定について

LAN 設定は、現在の LAN 接続の状態を表示します。LAN が接続されると、ほとんどのフィールドが自動的に入力されます。LAN が切断されると、「プライマリインターフェイス」の上部に「リンクは検出されませんでした」と表示されます。

「ホスト名」の後の入力フィールドで、Base Unit に名前をつけることができます。

LAN設定

[変更を破棄](#) [変更を保存](#)

LANホスト名設定

ホスト名:

プライマリインターフェイス

リンクは検出されませんでした。

メソッド:

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

MACアドレス: EE:DD:CC:A3:F1:FB

DNS サーバー:

最大5つのDNSサーバーのカンマ区切りリストを優先度順に入力します。

画像 5-36 LAN の設定例

LAN の設定方法

1. 「メソッド」の後のドロップダウンからオプションを選択して、Base Unit が IP アドレスを取得する方法を決定します。
 - ▶ **自動 (DHCP)**、IP コンフィギュレーションは、ネットワークが行います。
 - ▶ **手動**、「メソッド」ドロップダウンリストの下にある入力フィールドが有効になり、手動で IP アドレスを設定できるようになります。

 注: IP アドレスを手動で設定する方法の詳細については、ネットワークの現地 IT 担当者にお問い合わせください。
2. 有線接続がログインサーバーによって認証されなければならないかどうかを決定します:
 - ▶ いいえの場合は、手順 7 に進みます。
 - ▶ はいの場合は、次の手順に進みます。

3. ボタン「有線認証を設定しています...」をクリックします。

画像 5-37 有線認証ウィザードのポップアップの例

ClickShare の有線認証ウィザードのポップアップが表示されます。

4. 「認証モード」の後にあるドロップダウンボックスから、該当する認証モードを選択します。
- ▶ **EAP-TLS**、クライアントとサーバーの両方が証明書を必要とするログインサーバーを使用します。
 - ▶ **EAP-TTLS**、ログインサーバーを使用し、サーバーがパスワード認証によるユーザー認証でクライアントに証明書を発行します。
 - ▶ **PEAP**、セットアップに応じて、EAP-TLS と EAP-TTLS のいずれかの認証方法を使用できます。
 - ▶ **認証なし**。

どの認証を選択したかによって、異なる入力フィールドやドロップダウンリストが表示されます。

5. 必要なネットワーク詳細フィールドに入力し、Base Unit をホストネットワークのクライアントとして認証します。

 注: これらのフィールドの記入方法やドロップダウンリストの選択については、ネットワークの現地 IT 担当者にお問い合わせください。

6. 「コンフィグレーションの保存」の右下にあるチェックマークをクリックすると、変更が適用されます。

「有線認証ステータス」の後に、選択した方法が表示されます。

7. プロキシサーバーを使用するかどうかを決定します:
- ▶ **いいえ**の場合は、手順 9 に進みます。
 - ▶ **はい**の場合は、「プロキシサーバーを使用」の前のチェックボックスにチェックを入れ、次のステップに進みます。
8. 「プロキシサーバーを使用」チェックボックスの下に表示されたフィールドに、使用しなければならないプロキシサーバーの該当する詳細を記入します。

 注: プロキシサーバーへの接続方法の詳細については、ネットワークの現地 IT 担当者にお問い合わせください。

9. ページ上部の「変更を保存」をクリックして、Base Unit への変更を行います！

5.7.3 サービス

サービスについて

サービスは、ClickShare によって提供される追加のワイヤレス機能です。

📶 サービス

変更を破棄 変更を保存

モバイル機器

ClickShareアプリ経由での共有

AirPlay経由でのストリーミング

Google Cast経由でのストリーミング

Google Castはパスコードをサポートしていません。

パスコードのタイプ: 数値パスコード

PresentSense

超音波によるClickShareの有無検出

シグナルの強さ: 中

ClickShare API

API経由でのリモートコントロール

画像 5-38 サービスカテゴリの例

5.7.3.1 モバイル装置

モバイル機器について

ClickShare は、モバイルデバイス上の特定のサービスを通じて、モバイルデバイスからのコンテンツ共有をサポートしています：

- ClickShare アプリ (無効化できません)
- AirPlay
- Google Cast (パスコードに対応していません)

これらのサービスは、サービス名の前にあるチェックボックスで切り替えることができます。

モバイル機器

ClickShareアプリ経由での共有

AirPlay経由でのストリーミング

Google Cast経由でのストリーミング

Google Castはパスコードをサポートしていません。

パスコードのタイプ: 数値パスコード

画像 5-39 サービスサブカテゴリのモバイル機器設定の例

パスコード

ユーザーが正しい Base Unit に接続されていることを確認するために、共有が許可される前にパスコードを要求できます。このパスコードは、Google Cast サービスではサポートされていません！

「パスコードタイプ」の後にあるドロップダウンリストから希望のパスコード状態を選択します：

- パスコードなし。
- 数値パスコード、Google Cast ではサポートされません。

5.7.3.2 PresentSense

PresentSense について

PresentSense

超音波によるClickShareの有無検出

シグナルの強さ:

中

画像 5-40 サービスサブカテゴリにおける PresentSense の設定例

PresentSenseは、Base Unit から超音波トーンを発信し、範囲内に入るとコンピューターが受信できるようになります。



超音波の音は人間には聞こえません！

「信号の強さ」の後にあるドロップダウンリストから、音色の強さを調整します：

- 低
- 中
- 高

5.7.3.3 REST API

REST API について

Barco の REST API によって、ソフトウェアを通じて Base Unit と直接インターフェイスすることが可能になりました。REST API の完全なドキュメントは、それぞれの Base Unit にあり、「API ドキュメントの表示」をクリックすることでアクセスできます。

REST API は、Base Unit とのインターフェイスを許可するために、「API経由でのリモートコントロール」機能を必要とします。

ClickShare API

API経由でのリモートコントロール

API ドキュメントの表示

画像 5-41 サービスサブカテゴリの REST API 設定例

5.7.3.4 SNMP

SNMP について

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、IP ネットワーク上の管理対象デバイスに関する情報を収集および整理し、その情報を変更してデバイスの動作を変更するためのインターネット標準プロトコルです。一般的に、SNMP 管理スイート (サーバー上で実行) は、SNMP エージェント (デバイス上で実行) と通信を行います。SNMP エージェントは、MIB (Management Information Base) に基づいて変数の形式でデバ

イス情報を収集して公開します。SNMP 管理スイートは、SNMP プロトコルを介して ClickShare デバイスにアクセスし、デバイス情報を要求できます。



SNMPv3 がサポートされています。

SNMP

有効化

エンジンID:

デフォルトのエンジンIDを使用

SNMPマネージャ:

ユーザー名:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

画像 5-42 サービスサブカテゴリの SNMP 設定例

SNMP の設定方法

1. 「有効化」の前のチェックボックスをオンにして、SNMP 機能を有効にします。
2. どのエンジン ID を使用するかを決定します:
 - ▶ デフォルト、「デフォルトのエンジン ID を使用」の前のチェックボックスにチェックを入れます。
 - ▶ ユーザー設定、「デフォルトのエンジン ID を使用」の前のチェックボックスのチェックを外し、「デフォルトのエンジン ID を使用」の後の入力フィールドに希望のエンジン ID を入力します。
3. 「SNMP マネージャ」の後の入力フィールドに、イベント / メッセージを受信しなければならないホストのアドレスを入力します。

可能 TRAP イベント / メッセージ:

- アラーム「CPU 温度」トラップ、CPU 温度がしきい値を超えたことを示します。
- アラーム「ケースファンの回転」トラップ、ケースファンが遅すぎることを示します。
- アラーム「プロセスが実行されていない」トラップ、監視対象プロセスの 1 つが実行されていないことを示します。

4. 「ユーザー名」の後の入力フィールドにユーザー名を入力します。

5. 「新しいパスワード」の後の入力フィールドにパスワードを入力します。

入力されたパスワードの強度は、下のプログレスバーに反映されます。プログレスバーがどの程度埋まっているかによって色が変わります。

プログレスバーが緑色になるようなパスワードを選ぶことを強くお勧めします!

6. 「パスワードの確認」の後の入力フィールドに、選択したパスワードをもう一度入力します。
7. ページ上部の「変更を保存」をクリックして、Base Unit への変更を行います!

5.8 セキュリティ



画像 5-43 セキュリティカテゴリの例

5.8.1 セキュリティ レベル

セキュリティ レベルについて

セキュリティレベルは 3 段階あり、セキュリティレベル 1 が最も厳しく、セキュリティレベル 3 が最も厳しい:

- **レベル 1**、標準的な設置を想定しています。(デフォルト)
- **レベル 2**、セキュリティに敏感な場所への設置を想定しています。
- **レベル 3**、セキュリティが最優先される極めて安全な場所への設置を想定しています。

どのレベルのセキュリティも、特定の機能を制限したり、制限を解除したりします。より高いセキュリティレベルは、常にそれ以前のレベルのすべての制限を含みます。

どのレベルでどの機能が制限されているかは、表を参照してください。現在制限されている機能には、緑色の確認アイコンが表示されます。

セキュリティレベル

	1	2	3
モバイルアプリとButtonのためのパスコードを有効化します。	✓	✓	✓
ClickShare Configurator: HTTPS、ログイン管理、ワイヤレスアクセスの無効化	✓	✓	✓
Wi-FiネットワークのSSIDを非表示にします。	✓	✓	✓
モバイルアプリとサービスの必須パスコード ²		✓	✓
BYODサービスと機能がブロックされています			✓
ファームウェアのダウングレードはできません。			✓
ClickShare Configuratorへのワイヤレスアクセスができません。			✓
アクセスポイントモードを介したAPI経由でのリモートコントロールへのワイヤレスアクセスがありません ³			✓
クライアントの注釈の保存およびUSBドライブが無効化されました			✓

注:

¹セキュリティレベルを変更すると、Buttonのペアリングを再度行う必要があります。

²Google Castはパスコードをサポートしていません。[サービス]セクションからGoogle Castを無効にできます（ここをクリック）。

³セキュリティレベル3のアクセスポイントモードでは、リモート管理は利用できません。

画像 5-44 セキュリティレベルの例

セキュリティレベルの変更方法

使用するセキュリティレベルの番号をクリックします。セキュリティレベルを変更すると、すべての Button を修復する必要があることを通知する警告ポップアップが表示されます。Button のペアリングについては、[33 ページ](#)、[Button のペアリング](#) を参照してください。

5.8.2 パスワード

パスワードについて



コンフィギュレーターと REST API のデフォルトパスワードを変更することをお勧めします。

パスワード

変更を破棄

変更を保存

ClickShareコンフィギュレーターおよびAPIパスワード

古いパスワード:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

HTTP暗号化

HTTP通信は現在、自己署名証明書を使用して暗号化されています。

HTTP暗号化:

画像 5-45 パスワードの設定例

1. 「古いパスワード」の後に現在のパスワードを入力フィールドに入力します。

2. 「新しいパスワード」の後の入力フィールドに別のパスワードを入力します。
入力されたパスワードの強度は、下のプログレスバーに反映されます。プログレスバーがどの程度埋まっているかによって色が変わります。
プログレスバーが緑色になるようなパスワードを選ぶことを強くお勧めします!
3. 「パスワードの確認」の後の入力フィールドに、選択したパスワードをもう一度入力します。
4. ページ上部の「変更を保存」をクリックして、Base Unit への変更を行います!

5.8.3 HTTP 暗号化

HTTP 暗号化について

コンフィギュレーターに IP アドレスでアクセスすると、Base Unit によって HTTP サイトが生成されます。ClickShare は、認証を生成し、その認証が信頼できるかどうかをブラウザがチェックします。デフォルトで生成される ClickShare の認証は、一般的にブラウザにより信頼されず、安全でないサイトの警告が表示されます。この警告を消すには、ClickShare のデフォルト認証をブラウザで信頼済みとして設定するか、ローカル IT 部門が作成したユーザー設定認証で上書きします。

HTTP暗号化

HTTP通信は現在、自己署名証明書を使用して暗号化されています。

HTTP暗号化:

画像 5-46 HTTP 認証設定ボタンの例

認証の変更方法

1. どの認証タイプを使用しなければならないかを選択します。
 - ▶ **ClickShare が生成された**ブラウザで: 「自己署名証明書を使用」を選択し、認証を信頼します。ルート認証を信頼する方法の詳細については、現地の IT 担当者にお問い合わせください。
 - ▶ **IT 部門が提供する独自の認証**: 「ユーザー設定認証を使用」を選択し、次のステップに進みます。
2. 該当するフィールドをすべて入力し、作成した認証をアップロードします。

HTTP証明書タイプを選択

自己署名証明書を使用

カスタム証明書を使用

証明書のアップロード

パスフレーズ:

証明書のアップロード:

許可されているファイル形式:
.pfx/.p12 (PKCS#12)
.pem (Base64エンコード)

証明書署名要求

画像 5-47 ユーザー設定認証フィールドの例

3. アップロードされた認証を検証するには、「CSRを生成」をクリックし、該当するフィールドをすべて入力します。

5.9 システム



画像 5-48 システムカテゴリの例

5.9.1 Base Unit のステータス

Base Unit のステータスについて

Base Unit の現在の状態に関する一般的な情報をリストアップした概要が示されます。この情報は、純粋な情報であり、変更することはできません。

⚙️ Base Unitのステータス

プラットフォーム:	CB3010S (R9861633EU)
モデル:	CB Pro
製造番号:	
ファームウェアのバージョン:	02.18
使用開始日時:	2023-10-27T12:33:54
今回の稼働時間:	10分, 36秒
使用開始から現在までの稼働時間:	1週, 1時間, 47分, 11秒
全体的なステータス:	すべてのプロセスは実行中です

Base Unitの再起動

画像 5-49 Base Unit のステータスの例

Base Unit の再起動

1. ボタン「リスタート **Base Unit**」をクリックします。
ソフトウェアが再起動します。
「ClickShareシステムの再起動」ウィンドウが表示され、LED リングが点滅し始めます。
2. プログレスバーが完全に終了し、LED リングが再び白色に点灯するまで待ちます。

ClickShareシステムの再起動

再起動しています。

画像 5-50 再起動完了プログレスバーの例

ページは自動的に更新されます。そうでない場合は、Base Unit に再接続し、ページを再読み込みしてください。

5.9.2 省電力設定

省電力設定について

Base Unit がスタンバイに入るタイミングと方法を変更します。スタンバイの機能を変更する主なオプションは2つあります:

- **エコモード (省電力モード)**
Base Unit を起動させる複数の方法があります:
 - Base Unit への接続
 - Base Unit のスタンバイボタンを押す
 - Button のペアリング
 - HDMI ディスプレイに差し込む
- **スタンバイモード (ディープスリープモード)**

Base Unit は、Base Unit のスタンバイボタンが押された場合のみ起動します。

省電力

スタンバイまでの時間 (分) : 無限 1 5 10 15 30 45 60

エコモード

Base Unit がエコスタンバイモードに入ると、HDMI出力信号が無効になります。Base Unit のLEDが白く点滅します。Base Unit は次のいずれかのアクションでアウトプットを起動します。

- Base Unit に接続しているButtonまたはアプリ
- Base Unit のスタンバイボタンを押します。
- Base Unit のUSBポートでButtonをペアリングします。
- HDMIディスプレイに差し込む
- CECイベントが受信されたとき
- カメラがストリーミングを開始したとき

スタンバイモード

Base Unit はディープスタンバイモードになると、すべてのプロセス (Wi-FiアクセスポイントおよびLAN接続を含む) をシャットダウンします。Base Unit のLEDは暗くなり、このスタンバイモードを示します。Base Unit はBase Unit のスタンバイボタンが押された場合にのみ起動します。

画像 5-51 省電力の設定例

自動スタンバイの設定方法

アイドル状態が何分続くと Base Unit が選択したスタンバイモードに移行するかを変更します。

「スタンバイまでの時間 (分)」の後にある赤い点をクリックし、希望の分数に近くなるまでドラッグして、希望の時間間隔を選択します。

5.9.3 Button

Button について

現在ペアリングされているすべての Button の概要とその詳細が表示されます。Base Unit 自体、または専用ネットワークモードの場合はネットワークへの接続を確認できます。

 Button 編集の設定

Buttonの接続先: ClickShare- (5 GHz)

すべて選択 選択しない 削除

選択	製造番号	MACアドレス	アーティクルコード	ファームウェア	モデル情報	接続	前回の接続
<input type="checkbox"/>	1200463655	EC:5C:84:04:D4:21	R9861600D01C	04.19.00.0001	GEN4.1	4	2024-01-26T09:30:29
<input type="checkbox"/>	1860086321	08:3A:88:1F:19:6E	R9861600D01C	04.19.00.0001	GEN4.0	16	2024-01-26T09:29:39

画像 5-52 接続された Button の例

接続の切り替え方法

「設定の編集」は、Button が接続する WiFi アクセスポイントを変更します。Button が会社のアクセスポイントまたは別のアクセスポイントに接続する必要がある場合は、これらの設定を変更してください。



「変更を保存」ボタンを押すと、変更が行われ、ビューが更新されます。

Button

キャンセル 変更を保存

Buttonの接続先: 外部アクセスポイント

外部アクセスポイントの設定

認証モード: EAP-TLS

社内SSID:

ドメイン:

ID:

証明書を提供する: 手動でクライアント証明書とCA証明書を提供します。

クライアント証明書のアップロード: ファイルが選択されていません
許可されているファイル形式: .pfx (PKCS#12), .p12 (Base64エンコードDER).
ファイルには少なくともクライアント証明書と対応するプライベートキーが含まれている必要があります。

クライアント証明書のパスワード:

CA証明書のアップロード: ファイルが選択されていません
許可されているファイル形式: .pem, .cer, .crt, .p7b (Base64エンコードDER).

画像 5-53 編集で外部アクセスポイントに表示を変更する例

Button のペアリングの解除方法

Button のペアリングを解除するには、主に 2 つの方法があります：



ペアリングの解除はできません！ 取り外した Button は、Base Unit に修復しなければ機能しません。詳しくは、[33 ページ](#)、[Button のペアリング](#) を参照してください。

1 つ以上の Button のペアリングを解除: 希望する Button のチェックボックスのすべてにチェックを入れ、「削除」をクリックします。

すべての Button のペアリング解除: 「すべて選択」をクリックし、「削除」をクリックします。

5.9.4 黒板

ブラックボードについて

ブラックボードでは、共有されているコンテンツの上に注釈やメモをつけることができます。これらの注釈やメモは、Button に接続されたすべてのデバイスのローカルストレージや、Base Unit に接続された USB スティックに保存できます。

「有効化」の前のチェックボックスを切り替えると、ブラックボードが有効になります。

注釈のコピーを保存できるようにするには、「接続されたクライアントや USB スティックに注釈の保存を許可」の前のチェックボックスが有効になっている必要があります。

ブラックボード

変更を破棄 変更を保存

有効化

接続されたクライアントとUSBスティックへの注釈の保存を許可します。

画像 5-54 ブラックボードの設定例

5.9.5 XMS

XMS について

XMS は、Base Unit の現在の登録ステータスを表示します。QR 画像と登録リンクは、現在のステータスの下に表示されます。



XMS Cloud

デバイスがXMSクラウドに追加されていません。

SmartCareの登録

デバイスの登録ステータスを理解したり、登録したりするには、QRコードをスキャンします：



または、次のリンクを参照して登録してください：

[Click here to register device](#)

保証情報の取得。

画像 5-55 未登録 Base Unit の例

Base Unit がまだ XMS Cloud に接続されていない場合、**5年SmartCareパッケージ**は、このデバイスに対してアクティブにはなりません！

SmartCare パッケージには以下が含まれます：

- ハードウェアの 5 年間保証
- 増加サービスレベル
- 管理用 XMS
- 5 年間の分析管理

登録プロセスを開始するには、リンクをクリックするか、QR コードをスキャンして、[41 ページ](#)、[XMS Cloud 登録](#) の指示に従ってください。



XMS Cloud で Base Unit を管理する方法の詳細については、XMS Cloud ユーザーガイドを参照してください。

5.10 サポートと更新



画像 5-56 サポートアップデートカテゴリの例

5.10.1 ファームウェア更新

ファームウェア更新について

Base Unit ファームウェアのステータスを管理し、確認します。Base Unit ファームウェアは、(再)ペアリング時に Button のファームウェアも更新します。Base Unit が更新されたら、Button を修復することを強くお勧めします! 詳しくは、[33 ページ](#)、[Button のペアリング](#)を参照してください。

ファームウェアのアップデート

ファームウェアのステータス

現在はv02.18.00、最新です。

更新

ファームウェアの自動更新:

お客様に代わって自動的にシステムを最新の状態に保ちます。ユニットが8、更新ファイルがインストールされます。

ファームウェアの手動アップデート

最新のファームウェアはwww.barco.com/clicksharesetup

ファームウェアのアップデート:

ファームウェアのダウングレードを許可

画像 5-57 ファームウェアのアップデートの例

自動アップデートの管理方法

ローカルの設定によって、ファームウェアのアップデート方法は異なります。3つの方法があります：

- **自動**、Base Unit は、8 時間以上アイドル状態の後に新しいファームウェアがリリースされると更新されます。
- **通知**、新しいファームウェアが利用可能になると、ファームウェアのアップデートページとホームページの両方に、その旨が表示されます。
- **オフ**、Base Unit を更新し、新しいファームウェアがいつリリースされたかを把握することは、システムマネージャーの責任です。

「ファームウェアの自動更新」の後のドロップダウンリストから希望の方法を選択します。

ファームウェアの手動アップグレード / ダウングレード

1. Barco のウェブサイトから希望のファームウェアをダウンロードしてください。
2. パッケージを解凍し、アクセスしやすい場所に **[.enc]** 更新ファイルを保存します。
3. 希望するファームウェアは、現在インストールされているファームウェアより低いですか？
 - ▶ **「いいえ」の場合**、次のステップに進みます。
 - ▶ **「はい」の場合**、「ファームウェアのダウングレードを許可」の前のチェックボックスにチェックを入れます。

 注: どうしても必要な場合のみ、ファームウェアをダウングレードしてください!

4. 「ファームウェアをアップロード...」のプッシュボタンをクリックします。
エクスプローラーが開き、**[.enc]** ファイルの場所に移動します。
5. 更新が完全にインストールされるまで待ちます。
更新が完了すると、Base Unit が再起動します。
6. Button を修理し、ファームウェアが正しいことを確認します。詳しくは、[33 ページ](#)、[Button のペアリング](#)を参照してください。

5.10.2 トラブルシューティング

トラブルシューティングについて

ClickShare のデバイスに疑わしい問題が発生した場合に、追加情報または問題を修正するための基本的なアクションは、こちらをご覧ください。ClickShare が意図したとおりに動作しない場合、この章に記載されている情報や対処法を調べることを強くお勧めします！

トラブルシューティングのページが役立つ可能性がある主な方法は 2 つあります：

- 情報の提供
 - ログ作成でイベントを捕捉



画像 5-58 ログ作成オプションの例

- 診断の実行



画像 5-59 診断オプションの例

- 構成と設定のリセット：
 - すべての設定を消去 (Base Unit は、XMS Cloud に存在し続けます)



画像 5-60 すべての設定を消去オプションの例

- 工場出荷時の設定にリセット (Base Unit は、XMS Cloud から削除されます)



画像 5-61 工場出荷時のデフォルトにリセットするオプションの例

それでもうまくいかない場合は、リンクと QR コードで、Barco に連絡します。

QRコードをスキャンするか、ボタンをクリックして、Barcoのサポートを受けてください。



サポート

画像 5-62 連絡先情報の例

索引

数字/記号

- アクセスポイント 68
- ウィザード: 35
- ウォールマウント
 - 設置 24
- エコモード 80
- オープンポート 11
- オンボード XMS Cloud 41
- ガイドライン 8
- カメラ
 - フレーミング 61
 - 位置 61
- クイックシェア 34
- クイックユース 34
- グループフレーミング 61
- コラボレーション バー 14
- サービス 73
- サイドバー 52
- サポート 84
- システム 79
- スクリーンセーバー 65
- スタンディング
 - 設置 23
- スタンバイ 80
- すべて消去 86
- セキュリティ 7, 10
- セキュリティレベル 76
- ダウングレード
 - ファームウェア 84
- ダッシュボード 56
- ディスプレイ 28, 65
- ディスプレイと音声 65
- ナビゲーションバー 52
- ネットワーク要件 11
- ハードウェア 26
- はじめに 13
- パスワード 77
- バックアップ 60
- ビデオ
 - フィルター 63
- ファームウェア
 - ダウングレード 84
- 更新 84
- フィルター 63
- ペア
 - Button 33
 - ペアリング 33
 - ヘッダー 51
 - ホームページ 56
 - メインウィンドウ 53
 - モバイル オンボーディング
 - XMS Cloud 43
 - モバイルアプリ 73
 - モバイルサービス 73
 - ログ 86
 - ログアウト 51
 - ワイヤレスクライアント 68
- 一般情報
 - コンフィギュレーター 51
- 会議 Button 17
- 会議バー 61
- 個人用設定 57
- 処理
 - 概要 20
- 初めて 34
- 初期化
 - 構成 35
- 危険な警告 78
- 合成フレーミング 61
- 固定位置 61
- 壁紙 58
- 安全 7, 9
- 工場出荷時の設定に戻す 86
- 平らな面
 - 設置 23
- 必要なポート 11
- 接続 26
- 更新 84
 - ファームウェア 84
- 条件 9
- 概要 20
- 構成 49
- UI 51
- ウィザード: 35
- セキュリティ 76

ユーザー インタフェース 51
ログイン 50
一般情報 51
初期化 35
構成ファイル 60
機器の設置 23
環境 9
画面に表示される ID 57
画面解像度 65
発言者のフレーミング 61
登録
XMS 83
省電力設定 80
言語の選択 51
設定 19, 34
設置 19, 21
ウォールマウント 24
スタンディング 23
ディスプレイ上 25
平らな面 23
方法 22
概要 20
診断 86
電源 26
黒板 82

A

AI カメラ 61
AI フレーミング 61
AirPlay 73

B

Base Unit 14
Base Unit のステータス 79
Button 17, 33
概要 81

C

CEC 65

G

Google Cast 73

H

HTTP 78

L

LAN 30
LAN 設定 71
LED リング 14

P

PC オンボーディング

XMS Cloud 41
PresentSense 74

R

REST API 74

S

SmartCare 83
SNMP 74

U

UI 要素 53

W

Wi-Fi 31
WiFi とネットワーク 68
WiFi 設定 68

X

XMS
登録 83
XMS Cloud
PC オンボーディング 41
モバイル オンボーディング 43
XMS Cloud の登録 41
XMS Cloud 登録 41



R5917517JA /00 | 2024-01-11

www.barco.com